京城日報 十八日夕刊
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城大和町一丁目 京城日報社

米獨斷絶交後の形勢

▲駐米獨大使一行出發

駐米獨逸大使ベルンストルフ伯及び其大使館員一行は十三日夜半華盛頓を出發し紐育碇泊の丁抹汽船フレデリック八世號に乘組十四日獨逸に向け出發せり（紐育電報）

▲護衛艦は襲撃せず 獨逸政府の聲明

伯林來電——獨逸政府は中立國商船に對しては軍艦の護衛を受くると否とに不拘悉く潜航艇襲撃を爲す可きも護衛艦に對しては何等の襲撃を加へず但機械水雷に依る爆沈に就きては其責任を負はずと發明せり（紐育電報）

▲米國旗引卸を命ず

白耳義に於ける獨逸官憲は白耳義駐在米國公使に對し同公使館掲揚の米國旗引卸を命令せり（桑港電報）

▲在白米武官拘禁さる

白耳義に於ける米國武官は獨逸官憲の爲め拘禁さる（桑港電報）

▲聖誕樹を飾りて 獨逸兇暴戰開始の首途

フランクフルテル、ツアイツングのキール通信員の所報に依れば、獨逸の潜航艇隊は愈々兇暴戰の傅けせらる可き當日聖誕樹を以て美々敷裝飾を施し九時前後してキール港を勇ましく出動せり其間一隊は艇上及び常磐樹の綠深く飾られたる艦頭に於て賑はしく其首途を送れり（倫敦電報）

◎獨逸市民の暴動

獨逸ライプチッヒ市民は食物不足と平和要求との爲め暴動を起し形勢重大なるが交通機關杜絶せる爲め詳報を得難し（桑港電報）

◎米國海軍豫算案下院通過

米國下院は三百三十三對二十三の大多數を以て三億六千九百萬弗の海軍豫算案を可決せり該豫算中には戰鬪艦三隻戰鬪巡洋艦一隻の建造を含めり（紐育電報）

◎今村氏一行通過

大藏省書記官今村次吉氏及び隨行員石川重男氏は露國に赴く途中十八日朝連絡船高麗丸にて着釜直ちに北行せり（釜山特電）

◎直村工場長通過

滿鐵沙河鎭工場長直村字之助氏は十八日朝高麗丸にて着釜直ちに北行す（釜山特電）

◎露國の軍需註文

期待せられたる羅馬尼の軍需品註文資金八千萬法も同國戰勢の不振と共に遂に到來せず露國よりの軍需品註文も亦從來の如き活况を呈せざるより民間當業者の失望は云ふに及ばずこれが製造業の進歩發達を希望しつゝありし陸軍方面に於ても亦頗る遺憾とせられつゝありしも然れども

▲戰局の前途より打算すれば露國に於て尚ほ尠からざる兵器彈藥其他の軍需品を要するや明かにして殊に軍絨及び軍靴用皮革等の如きは戰線の活動如何に拘らず之を必要とすること勿論なり只近來露國内に於ける軍需品製造工場の漸增に由り當初程の外國註文を必要とせざるに至りたるは想像に難からざるのみならず英佛兩國よりの輸入激增は益々我國への註文を減少せしむるに至れり然れども露國に對する英佛よりの輸入軍需品は最近獨逸の宣布したる無制限潜水艇戰の宣言に由りて一大打撃を蒙れりと信せらる即ち同宣言に關する

▲實行上の効力は固より英獨海軍の實力如何によりて決す可きも同方面海上の危險は從來に比して一層痛切となり從つて軍需品輸送の運賃保險料等は著しく昂騰し隨ひ軍需品の價格も頗る騰貴す可きと爭ふ當然にして此意味より觀るも今後露國よりする我國への軍需品註文は決して悲觀するを須ひざる可く現に我國駐剳の露國武官は軍需品註文に關する本國政府よりの電命に接し居れりと解せらる尤も露國は從來獨り日本のみと云はず外國に對し支拂資金なき註文を發せしが爲に蒙りたる辛き經驗に鑑み所要資金の調達出來ざる限り假令

▲一品の軍需品たりとも之を註文せざるの方針を執りつゝあれば我國に對しても亦目下懸案となり居れる二億圓の軍需資金問題にして實際的に解決せられざる以上到底新規の註文は望み難きが如し當局の斡旋と銀行家の發奮とによりて幸ひ上記二億圓の資金調達せられたりとするも内七八千萬圓は先づ既往の註文に係る軍需品の代金に充當せらるべく實際新規註文に振向けらるべき資金は一億二三千萬圓となる計算にして而も今後の註文品は多く原料品若くは半製品等從來の註文品目とは多少異る所あるべきかと云ふ（東京）

◎在支獨人と支那 安全保護の方針

支那政府は萬一支獨國交斷絶するに於ては當例に據り獨公使及び在支獨人は遑く支那より退去す可きも亞歐各國は多く協商國側に加入し從って彼等は假令幸に支那國境を脫離し得るとも協商國國境の脫離は困難なる可きを以て人道上より之れが便法として在支獨人は戰爭終結する迄一切支那政府より安全に收容する旨を宣言する由にて已に此旨を各省長官に密諭せりと（北京）

▲奉天獨人落付く

奉天在留獨逸人は極めて少數にて過般の獨帝誕生日に參會したる獨人十五人が其全部なるが如し獨支關係切迫の現在彼等は中心頗る恐慌し商一の掛合を廢れて商品投資を爲す者等ある由なるも假令へ獨支國交斷絶するとも彼等は安全に歸國するの途なく支那政府は斯の場合に於ては彼等を安全に保護するの意思なれば在奉獨人等は案外落附き居る者の如し（北京）

◎苦力の歐洲行 支獨國交斷絕の曉

開戰以來各聯合國に於ては自然勞働者の缺乏を來したるを以て支那苦力を募集しつゝありしが之に對して駐支獨逸公使ヒンツエ氏は妨碍を試み支那政府に對して中立違犯の廉を以て抗議を申込みたる事屢々ありたり然るに愈々孤立と國交斷絶せば支那は差當り國內に充溢せる苦力を聯合國に輸送する利益あるべく今日まで露國に約二萬英國及び佛國へ一萬餘の苦力の出稼ぎ居れるものあれば今後一層其數を增加すべし而して歐洲を始め英佛にては既に大規模の募集計畫中なりと

◎臨時船舶職員試驗

朝鮮に於て船舶職員令附則に依り三年間の効力を有する海技免狀を受有する者は百數十名にして其の免狀は本年五月三十一日限り効力を失することゝなるを以て是等の者を主とし其の他一般海員試驗希望者に對し三月一日鎭南浦同月五日木浦同月十五日釜山の各遞信局海事出張所に於て臨時船舶職員試驗執行の筈なるに依り希望者は申請書其の他の證明書類に相當手數料を添附し各期日五日前迄に右執行官廳へ直接提出するを便宜とす因に試驗種類は左の如し

乙種船長、乙種一等運轉士、乙種二等運轉士、丙種運轉士、乙種一等機關士、乙種二等機關士、丙種機關士、湖川港三等機關士、二等機關士、三等機關士

◎木材界活氣

朝鮮に於ける木材の缺乏は追々一般に知れ渡り龍山營林廠出張所の製材在庫品の内約二千三百餘尺締は軍經理に於て師團建築用材として買收せる趣きなるが今回又木材業者の勇者として名高き土井伊右衛門氏は三井の手を經て同出張所の製材及び原木の全部を獨占購入することに決定せりと（京城）

◎今村書記官入京

大藏省書記官今村次吉氏は露國へ出張の途次十八日午後九時南大門驛着汽車にて入京天眞樓に投宿す、滯京二日の由にて十九日は午前九時三十分總督府に長谷川總督以下各部長官局長等を訪問し入京の挨拶を爲し夫れより度支部新田事務官の案內にて昌德宮秘苑を拜觀し景福宮、中央試驗所、商品陳列館、公立高等普通學校等を參觀し更に臨時土地調査局、朝鮮銀行、東洋拓殖會社を訪問の上二十日午前南大門驛發列車に搭乘北行の豫定なり

▲今村氏歡迎會

大藏省書記官今村次吉氏入京に付き朝鮮銀行にては十八日午後九時より同氏を千代本に招待歡迎宴を開く由總督府側よりも親近者數名出席の筈なり

◎松原氏歸鄕

同氏は來る四月二十日を以て執行せらるゝ衆議院議員總選擧に所屬政黨政友會の公認候補者として鄕里福井市より打て出でんことを先蹤政友より勸誘を受け右に付打合せを要することあり十九日午前八時三十分南大門驛發東上し直ちに歸鄕すべしと

◎京城農事組合總會

京城府及び高陽郡內にて直接從事せる營農者を以て組織せる京城農事組合にては十七日正午より光熙門外農場に於て春季總會を開きたるが來會者は纛島、漢江、淸涼里、延禧面、恩平面、麻浦、龍山等各方面の果樹、蔬菜、園藝家百餘名の多きに達し藤澤副會長より諸般の報告をなし會長爪生鐵哉氏死去に就き後任者の改選をなしたる結果滿場一致を以て梨太院の蒲生隆宏氏當選し夫れより京城府內市場設置の件、種子共同購入、其他農事に關する諸種の問題を議したる後宴に移り頗る盛會裡に解散したるは午後六時なりき

□鏡城より

十二日 桑原綾江

▲九日正午元山乘船の頃は北風吹き荒み雪片空に舞ひ淸津上陸の時は如何あらんかと按じ居り候處晚來風止み雪霽れ海天一碧長瀾を艦端に受けつゝ北進するの狀爽快譬へんにもなく候ひき

▲吉州明川の連岳は悉く白衣を著け寒氣嚴肅の程思ひやられ候、此の模樣にては鏡城附近は積雪尚二尺を超ゆ候事と存居候處翌十日午前十一時淸津入港を報ずる汽笛に促されて甲板に上れば豈圖らん港門を包圍する高抹双燕の諸山は殘雪の痕跡をも留めざる位にて二三日來氣候も頓に溫暖となりし趣海に意想外の事に御座候。

▲小生は病後にもあり又幸に天候の都合も宜敷ければ直に輕鐵臺車上の客となり海岸に沿ふて南行、羅南附近にては尙殘雪山背、街上にあり鏡城に入りては一面に積雪あるを見候京城出發以來の狀況を見るに寒氣は元山最も強く陽春は洗浦附近最も多き樣に覺え候

▲元山にては平壤元山間鐵道の開通を熱望致居る趣、又久原氏の經營に屬する甲山銅山の事業は冬期中には專ら調査に力め今春解氷後に於て大に活躍を試みんとする由、城津の畜牛、氣勢の陸土石炭等の移出と相俟つて裏日本との連絡航路の繼續を見るは必らず近き將來に於て實現を見るべき必然の傾向に有之洵に會心の次第に御座候

▲只今日の場合裏日本と交換すべき我物資の種類數量等を充分に調査し置き豫め之に備ゆるの必要有之候は豫て御話申候處に候も小生等と同船したる乘合客の坐談に徵するも一層其感を深ふする者有之候

▲船員より淸津港は冬期堅氷凍結し舟の運漕を妨け寒氣嚴烈め爲手足の自由を缺き荷役意の如くならずして碇舶時間内に積卸を爲す能はざることありとの困難話有之候而して淸會鐵道更に吉林迄延長することを得ば此等の困難を排除するのみならず北鮮と北滿の貿易上に多大の影響を與ふるならんと思料致され候

・船中所見・

朝風吹雪々霏々。韓海蒼茫一望微。
汽笛聲々船解纜。潮濤沓渺白金飛。

又

峰巒北走望低迷。雪裡風光太慘凄。
今歲春寒猶料峭。六知禾穀滿秋畦。

▲旅行中汽車、汽船及び輕鐵臺車共に病後の身に何等支障なく無事歸家致候に付御安意可被下度願上候匆々

京畿 ＝仁川＝

▲仁川穀物在庫數 仁川穀物協會調査の十五日現在穀類在庫數量は
玄米一六五、三八九叺白米八二七八叺同三四一八俵粳一一九六俵粉米四三三叺大豆四二五三五叺小豆七九五四叺小麥一四二九四花子二二六斗麥七五叺粉米五一五同一〇三俵合計二十五萬二百十六叺
にして之れを前月末日現在に比較すれば玄米八千八百八十三叺粳千六百俵を增加したるも白米は露國輸出に依り五千三百叺を減少し大豆は釀造家方面の需要期切迫したるを以て內地移出や活潑となり來れる爲め仁川驛發送增加し約五千叺を減じたり

▲魚價低落 一時鮮魚供給難の結果非常の暴騰を來したるも暖氣加はると共に德積島方面に鰮、鯖の漁獲に出づる漁船增加し魚類の供給やゝ潤澤になりたる模樣にて隨つて相場も下落したり鯛は今後忠淸道沿海方面より多少の水揚ある由

平壤

▲貯蓄組合の今後 平壤に於ける內地人側金融の一機關たる貯蓄組合は昨臘第九期決算を發表したるが創立以來頗る良績を擧げ來るに恰も來る九月にて設立期限滿了に付き解散の筈なればそれに先立ち株主中之れを商業銀行に組織變更し營業すべき意見を有するものあり即ち組合長一柳氏等の役員派は其唱者なるが一方には當初創立の契約通り期限に解散すべきを主張するものあり又銀行業よりも倉庫業を營せんとする一派なきもありて解散と其後に處する意見區々なるが銀行業は兎に角倉庫業は穀物賣買を兼ねて經營すべく某々氏は各工業勃興の氣運に乘じて計畫中なれば若し計畫熟するとせんも其筋は一時に二個の倉庫の開設を許可せざるべく即ち某々氏等の計畫は先願として許可さるべければ若し貯蓄組合が事業を繼續すとせば恐らく銀行事業ならんも解散說は頗る有力なれば或は之れに決定するやも知れず

▲商工學校近況 鎭南浦商工學校に於ては近く四十數名の卒業生を出す筈なるが卒業生の過半數は既に就職口ありて尙續々と雇入希望者ある由なり尙同校は本年より商業科四十名木工科二十五名金工科二十五名の新入生を募集中なるが內地人は尋常小學校卒業者鮮人は公立普通學校卒業者の中より入學試驗を執行し入學許可を與ふる由なり

▲技術員會議 平安南道廳に於ては管內各府郡の技術員を召集し箕陽俱樂部に於て二月十六日より技術員會議を開催せるが十七日は工藤平南長官會場に臨場し各府郡の狀況報告を聽取したるが閉議は一週間の豫定なりと

▲害獸の驅除 平安南道に於て客年七月より十二月迄に捕獲したる害獸は總數二二五頭にして內豹一熊九獐二二八兎五猪一二なり

▲機業組合 平安南道順川郡新倉面上泉洞に於ては今回上泉洞機業組合を新設したるが其目的は機業改良にありて組合員十一名各自一人十圓づゝを出資し組合員未資本の必要なるものに貸附するものなりと因に組合長は互選の結果趙璉當選したり

咸南 ＝元山＝

▲元山驛貨物狀況 客月中元山驛に於ける貨物發着狀況を聞くに發送總高四千四百二十四噸到着總高四千八百四十三噸にして前年同期に比すれば北鮮地方對朝鮮內地の物資需給にして京元線を經由するもの增加したるより發送に於て一千四百五十五噸到着に於て一千四百八十六噸何れも增加を示し居れり

▲橫斷航路問題 既報元山繁榮會の席上附議せられたる日本海橫斷航路問題は元山に於ける十年來の一大懸案にして未だ之れが實現を見るに至らざるが近時鮮滿地方雜貨の著しき結果貿易上尠からざる障碍を釀して止まざる現狀を遺憾とし遂に滿場一致を以て本案の請願をなすべく可決し更に其の實行委員として龜谷、佐藤、石川、本間、西田氏等を推薦したるが右委員は十八日會合の上今後の方針に就き講ずるところありたり

▲千代丸の入港 兵庫縣津名郡假屋町森野玄太郎氏の所有發動機船千代丸（九十九噸）は今後元山地方沿岸航路に就航すべく來航中風波の爲め豫定より遲延し十六日若干の貨物を積載し無事元山に入港せり

忠淸 ＝公州＝

▲管理者會議 忠淸南道に於ては本月二十日より二日間の豫定を以て管內二十七の學校組合管理者を召集し會議を開催する由なるが此會は學校組合實施後に於ける第一回の催しなり

▲地主會設立 忠淸南道牙山郡に於ては農事改良促進の爲め郡內に於ける大地主を網羅して牙山郡地主會を設立する事となり本月二十一日郡廳に於て創立總會を開催し規約其の他必要なる事項を議定する由なるが當日は道廳より道長官代理として指宿技師出張し道長官の告辭代讀並に地主會の指導地主に對する農事改良の講話を爲す筈なり

全南 ＝木浦＝

▲豫算內示 當府及び學校組合大正六年度豫算は過般來各理事者に於て鋭意編成中なりしが昨十六日を以て大體編成を了したるに付今十七日府協議員及び學校組合議員を招集し豫算の內示を爲し大體の勸議を經て本月末本會議を召集し附議すべしと

▲木浦戶口 當警察署の調査に係る木浦府の一月末現在戶口は內地人千二百五戶人口四千六百三十七人朝鮮人千九百三十一戶人口八千三百六十六人支那人二十四戶米人五戶にて人口增減なし

▲客月屠獸數 一月中の當府內の屠獸數は牛牝五十二頭牡四十五頭計九十七頭豚十二頭なりと

慶北 ＝大邱＝

▲浦項鰊豐漁 迎日郡浦項を中心とせる迎日灣一帶の鰊漁は既報の如く十年來の豐漁にして去る一月中に於ける漁獲高は十一萬五千四百八十六圓にて尙ほ二月上旬までのものを積算すれば三十六萬圓餘に達し加之ならず漁期は尙四十餘日なれば全漁獲高六十萬圓に達する見込なりと

▲衛兵營跡入札 十七日午後三時より大邱旅館撤期成會にては同會に下附されたる衛兵營跡を夫々入札の結果市內東城町一丁目八十八番地所在宅地一千六百一坪同地上建物二十棟（建坪八十九坪九合九勺）は一萬二百五十六圓にて酒巻氏に同京町一丁目四十一番地宅地一千六百二十八坪同地上建物二十二棟は六千百三十二圓九十錢にて英勉氏に夫々落札せり

▲吉松第一部長は二十三日より三日間の豫定にて一般事務視察の爲め金泉、尙州方面へ出張の豫定

慶南 ＝釜山＝

▲客年海上保險高 大正五年中日本海上、帝國海上、橫濱海上、東京海上、神戶海上、ニウジーランドの各釜山代理店に於て海上保險を附したる件數は二萬五千四百七十四件（大正四年二萬六千三百五十件）にして此契約金高は一千五百五十三萬二千二百十七圓（同一千五百八十八萬四千八百十圓）保險料金は二萬四千九百九十七圓（同二萬七千四百四十六圓）なりと

▲客年輸移出入 大正五年中釜山を經て沿岸各港に輸移出入したる貨物價格は移出一千五百六十一萬七千三百五十三圓にして明治四十年の三百〇一萬一千三百十圓大正元年の一千一百十一圓に比し漸次著しく增加し居れるが重なる貨物は米、絲糸、綿布、明太魚、鰮、乾魚、淸酒、醬油、砂糖、煙草の類にして輸移入は一千七百廿五萬〇二百八十五圓にして明治四十年の二百卅八萬八千三百八十三圓大正元年の五百八十六萬六千一百七十六圓に比し是れ又多額の增加を示し重なる貨物は米、大豆、明太魚、乾魚、乾貝、稻北、海苔、牛皮等なりと

▲貨物船御嶽丸入渠 關釜連絡船貨物專用船御嶽丸は二週間の豫定を以て入渠するに付代船として神戶三林直助氏の所有船以智丸（一千二百九十五噸九）を鐵道院に傭船することゝなり十八日下の關に於て受渡を終へ十九日より就航することゝなれり

▲商船 當時碇泊中の鐵嶺丸は今後二三航海中貨物專用船として同航路に從事すべしと

▲商議評議員任命 愛に朝鮮總督より釜山商業會議所特別評議員に任命せられたる福永政治郎氏、石井光雄、大原庄太郎、石垣孝治、宮地時彥の諸氏に對し若松釜山府尹は府廳府尹室に於て大池商業會議所會頭を列席の上夫々任命書を傳達したりと

人事往來

▲岩本以明氏（京城地方法院長）十七日午後水原より歸京
▲ワヰリス博士夫妻（基督教監督）十七日午後東京より入京朝鮮ホテルへ
▲荒木孫作氏（群山府學生監督）十八日午前東上
▲大塚虎之助氏（前代議士）十八日午前內地より歸京
▲岡本惠三郎氏（開城署長）十八日午前歸任
▲神野孝夫氏（咸興憲兵隊副官）十八日午前出發歸任
▲矢野助藏氏（龍山憲兵分隊長）臨時にて約二週間欧州中此科快繼
▲大原卯太郎氏（釜山木產組合長）十八日朝入京日の丸旅館へ
▲久野幾三郎氏（同技師）同上
▲田中玄黃氏（平壤高等普通學校長）十八日朝歸京

桁の違ふ成金振り

勤勉なる在米日本人　本田農學博士歸朝談

歐米の各地を見て新歸朝の本田幸介博士は亞米利加觀察の所感について語る

成金の米國、亞米利加の成金振りは實に大したもので景氣の盛んなる實に驚嘆の外はなかつた、工業地の

◆都市が軍需品製造

とか貿易の好調とかに促され絶大の殷賑狀態を呈してゐる事は云ふ迄もないが、田舍は又田舍でドコに行つても戰亂の影響を受けたため農產物の騰貴著しく各地の營農者は非常の收得があつたで貧乏人の顏が見たいと云ふ風の氣分が甲地でも乙地でも東洋の一視察者たる吾等を包んだのであつた、日本も戰亂のため成金は可なり出來たらしいが、之れを米國に比すれば

◆實際桁が違ふのだ

からね……北米各地の日本人は今の所總數約八萬人許りしかゐない、其內六萬人はカリフオルニヤ州に在留し六萬人の九割は各地の農園に働いてゐる、所でドコにゐる日本人も非常に働らいてゐる、日本人と思はれぬ位眞黑になつて働らいてゐる、何故彼等は夙起晚眠孜々として働らくのであるかと云ふに、四圍の境遇が彼等を驅つて

◆悠然してゐられぬ

やうにすると云ふ風の事情もあらうそれは苟くも亞米利加に行くには金をとらうと云ふのが目的である金をとるには働らかねばならぬと云ふ頭が常にある又之れを歷史的に考へて見ても排日と云ふ事が歷史的に在米日本人を苛め……今日では餘りないが少なくも精神的に壓迫してゐる、それに反抗する氣慨が彼等を勸勉ならしむる、私の見た所

◆私の聞いた所では

日本の勞働者は白人、土人、ヒンドス其他の何れに比するも非常に卓越してゐるのである、日本の勞働者は働らく時間に於て必らずしも外の勞働者より長くはないが、同胞は樣に頭の働らきが好い、恰悧敏捷である手先が器用で圖拔けてゐる、加州に於ける農業の大部分は實際日本人の手に行はれてゐる、殊に果物の採取などの如き受負事業と來ると日本人のやる量の捗どるのは

◆白人黑人の勞働者

の目を圓くさせてゐる、さう云た風で收入も仲々よい一日に日本人勞働者の最低が四圓である五圓七圓十圓と其上はズツと上つてゐる私は帝大教授の某博士と十日許り加州を一緒に廻つたが、堂々たる大學教授の年收が在米一勞働者に及ばないと云ふ有樣で、これでは拜金宗の米國では稅が上らないぞと

◆互ひに笑つた事で

あつた、かうした風で日本人の內には可なり金を貯めてゐるのもあるけれど其の多くは乃ち八割も九割もは懷ろの裕かなるに氣を浮かし賭博をやる酒を飲む女に上せると云ふ風で取つた金は底のない袋に入れたと同樣なくなつてゐるとの事であつた、それから加州の排日問題はどうかと云ふに今日では殆んど其の聲はない又若し排日を加州で

◆實行するとなれば

加州の農業は忠實敏捷な勞働者を失つて殆んど全滅の外はないであらう加州の眞面目な人士はその實情を熟知してゐるから一部黃色紙の外排日と云ふ事は問題にならぬ尙ほ勞働者としての支那人は何國でも重寶されるのであるが米國で支那人の入國を禁じたのは日本の排斥より餘程早かつたで排支前に入つた支那人は

◆昨今四十歲以上の

よい年格好となり氣力消耗衰退勞働者として日本人の敵でないのである

▲布哇には

電車の中に、英文と日本文の同樣の掲示

布哇は往復共汽船のホノルルに碇泊した時日だけ上陸した、布哇の日本人は九萬何千人と云ひ

□一寸十萬に 近い、布哇全島の住民が二十一萬人と云ふから一寸同胞は四割强の多數である、然も自餘の十一萬餘は印度種もあり、伊太利種もあり、土人もあり、西班牙人あり、英人あり、種々雜多で何れも日本人の年數もゐないのであるから同地に於ける日本人の勢力は

□大したもの である、早い話しが電氣鐵道に乘つても英字で色んな注意をした下に必らず日本文の懷中御用心式の文字を見る、これは一寸愉快である恐らく

□外國の內で こんな例は外にないであらう、それ丈け日本人は鐵道などの上客である、布哇の日本人中には勞働者の外商人受負者などが若干ゐる、基礎のある人も大分あるやうに聞いた、唯此地の勞働賃金は普通一月二十七八弗で之れを米國に比すると遙に安いやうである

◇漆工會

中央試驗所內漆工部の實習生を會員とする漆工會では十七日午後七時半から第一回總會を催ほした、來席者は會員內鮮人約三十名來賓十名定刻今津會長が開會の辭として朝鮮に於ける漆器業の衰頹は斯業者の墮落した所以であるから諸君は今後大いに斯業の復活に努力せねばならぬと挨拶し續いて石川縣物產紹介所の加藤氏平田漆器店主等も來賓として祝詞旁々大いに會員を激勵した後役員選擧あり終つて茶菓筑前琵琶の演奏等があつて同十一時半散會した

▽連絡船某事務長曰く

連絡船の乘組船員と云へば一般の人からは渡守の船頭の如く見做され他の航路の船員に比して何となく卑められるやう感ぜられて居たが先頃から我紙上に堂々と連絡船長の感想や各方面からの觀察談が連載せられ稍や連絡船の任務の重大なることを認めらるゝに至つたことは私共までも大に意を强うする次第です さて私共の立場から乘客の待遇に就ての御話を致しますと御航海中あらゆる階級の人を送迎するのは隨分氣骨が折れる事です 乘客の待遇に就て直接其衝に當る事務員なり給仕に至るまで十分の訓戒も與へ注意も怠らず監督はして居りますれども何を云ふにも何百人の乘客であるから手落ちも出來又た誤解も招き面倒の起ることも度々ありますが乘客の側から見れば給仕は恰かも乘客が自分達の召使のやうに心得して本船側からは强て手の屆く限り乘客の世話に盡さしめんと努めて居ますけれど何分三等室などには僅か六七人の給仕が數百人と云ふ多數の乘客に對することであれば屆きかねるところもあらうと思ひます共邊は容赦を願ひたいものです ボーイに心附けのことに就いては隨分禁すると云ふとは久しい一般の習慣で今日迄は出來ませぬが然し他客に覺られぬ樣に小聲で禮を云ふは宜しいが開けがましに挨拶することは斷じて成らぬと平生から戒めて居ります 又た祝儀の有無に因つて

▲待遇を區別 すること抔めかしてあります之れに就て面白い話があります、嘗に長尾半平氏が九州鐵道管理局長になつた際に列車給仕がチツプ(祝儀)を乘客から貰ふこと嚴禁すべく命を下し一厘一錢と雖も貰ひ受けた者は容赦なく解雇すべく若し乘客より强ひて與へられたる際は直ちに其旨屆出づべしと申渡されたとありそれ以來斷行してチツプ廢止を實行して來たのに昨秋九州に

▲大演習擧行 の際に通過せられたる鐵道院總裁の後藤新平男が列車給仕に若干かの祝儀を與へられたのを最初に寺內首相を始め各大官が夫々心附を與へられ[illegible]ことがあります北道でも或る

▲一流紳士 が內地へ歸職して行かれるとて御乘船になりましたが手荷物も相應にあり兎ても部屋に容れられず幾分かを普通荷物室へ收容したるに船內にて稅關吏が檢査の際に發いたのは支那繻子が十何疋、埃及煙草が何十鑵其外課稅を免れぬ商貴品が澤山に詰込まれあつた爲め成規の關稅を徵せらるゝことになつたが其持主は大立腹何故何の挨拶もなく普通旅客の荷物庫に收容したか

▲檢査の際に 本務長が立會ひ押へ者の荷物と云へば斯かる課稅は受けぬものにと夫れは〳〵大叱言、稅關檢査の吏員に交涉し是非無稅にすべく談判せよと馬關に着くまで孔を捻られたことがあります成るべくは乘客の感情を害せず出來得る丈けの便利は計つて居りますが乘客の方々にも此際諸情の程を諒かね樣御注意を煩はしたいものです云々

▽連絡船に關する各方面人士の意見は已に二十餘回に涉り連載し來りたるが、既に鐵道院に於て新たに聯絡船建造の計畫確定せる旨報道せられたるを機とし世稿を終る

ころが小言を喰つて遂に藝術が破れたと云ふ滑稽があり乘客の中にはボーイが祝儀を受けぬと云ふは

▲事務長の命 令だ相だが自分が親切に世話になりたる爲め心附けの心付けを與ふると云ふは心情の發露であり又た海給のボーイに對する同情心に出でたるものなれば自分の厚意を受けしむる樣論して呉れと眞面目に談判ブ廢止と云ふことは實行出來なくなりとて油斷すると乘客の起り易いわけですから前云ふ通り十分に訓戒を加へて居る次第です、乘客の小言苦情ですが夫れも相應にあります先つ八釜しい問題を持込まるゝは官吏で夫れも判任官が一番多く次は辯護士と云ふ所で中には相當の地位にある人でも隨分無理難題を持込まるゝ

● 小蘋女史逝く

帝室技藝員野口小蘋女史(七)は二三年前より健康勝れず多數の後輩に對し揮毫を謝絶し專ら靜養中なりしが其の甲斐無く宿痾の氣管支炎の爲め十七日午前十一時遂に逝去せり(東京特電)

● 上原氏出獄す

本派本願寺疑獄事件に連座せる前同寺室內部長上原芳太郎氏(五)は業務上橫領罪の下に懲役一年六箇月の處刑をうけ大正五年三月二十四日入監し爾來紙製作に從事し居たるが今回恩典により假出獄を許され十五日夜歸宅せり(大阪支局)

◇兎狩り　少女も交つて

京城黃金町三丁目武德館では十八日午前九時から同少年劍士數十名の兎狩りを東大門外の廣濟院附近で催ほした、陣之內師範が總指揮大橋山田の兩氏が世話係となり、鐵力鐵、其他の鳴物入りで木刀提げた劍士の面々が狩り立て十二時頃廣濟園內で晝食を喫し更らに狩り立て午後に至つて引揚げたが一行中には袴の股立甲斐々しく扮裝つた少女が數名加はつて居た

● 他人を救はんとして命を失ふ

野菜行商人の奇禍＝家族の悲歎

大邱東城町二丁目大工高田倫(二八)の妻ちくよ(三)が十四日午後五時頃自宅にて焚火中烈風に煽られたる火が著衣に燃え移り之を揉み消さんとしたるも果さず兩手、左足、顏面等に大火傷を負ひ

▲悲鳴を上げ 居るを聞きつけたる隣家米倉某の妻女が驅付けんとしたるも生憎兩家の間には土塀ありて乘り越ゆる事も出來ず折から來合せたる本籍金澤市南町當時大邱本町居住野菜行商宮岸德三郎(三七)福島縣人七里町居住の岡松萬壽(三)の兩人はちくよを救はんと

▲士塀を飛越 ね岡松は直ちに著衣の火を消止め應急の處置をなし振返り見たるに宮岸は塀の下に打倒れて甚しく苦悶し居るより岡松は更に同人を介抱したるに宮岸は腹部の激痛を覺ゆ一歩も身動きが出來ぬより擔架にて居宅に送り屆けたるが翌十五日大邱慈惠醫院にて診察を受けたる結果塀より飛降りたる刹那さ一間幅一尺許りの腰掛四脚ありたるもの一端にて

▲腹部を强打 し同日午後腹部切開の手術を施したるに全く小腸を損傷し其の一部に拇指大二個の穴が明き共れが化膿して急性腹膜炎を併發したる者と判明したるが手術の甲斐もなく同人は十七日午後六時四十分頃遂に死亡するに至れり然るに同人は妻つる(三)との仲に長女きよ子(二)二女みざ(二)三女みどり(四)あり僅か計りの資本にて

▲辛くも其日 を暮しゐたる事とて家族の悲歎目も當てられず同地の有志等は何れも同情の淚を灑ぎ居れり因みに火傷者ちくよも大邱慈惠醫院に入院加療中なるが是又生命危篤なりと尙同家も夫妻の間に十歲を頭に三名の子女あり氣の毒なる生活狀態なりと

● 釜山の火事

損害三萬餘圓

十八日午前一時大廳町三の十一試刀商木下國之助方より出火し十二番地紙商北島今朝吉酒商上西嘉吉外二戶全燒三時半鎭火せり原因は火元木下方の丁稚新川龜市(七)の過失に依りしものにて損害三萬三千餘圓なり商品に二萬三千五百圓家屋に二千五百圓の保險を附しありたりと人畜に異狀なし(釜山特電)

● 水管自動車(寄附) 京城消防組水管自動車購入費の內へ尙州黑澤在留氏より金一圓本社を通じて寄附ありたり

○京城基督教會(南米倉町) 十八日午前十時半より傳道說教『愛の權威』渡瀨牧師猶ほ午後七時半より夕拜說教『充實の生涯』同牧師

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽一口噺『時々』

▲太刀山の渡米するのを聞いた田吾作『ハヽン道は米國は金のあるだけ偉いわい開戰早々やつな顧みよろアイ』　龍山　太田　半平

▲甲『朝鮮銀行では此程、五十萬圓の古紙幣を燒き棄てたそーだ』乙『勿體ないなー、貧亡人に與れば助かつたろうに』　京城　神崎白樂天

▲米國で持て餘まされて居る日本の玩具の人形があると聞いた與太『人形迄排日かれ』　龍岩浦　大石　劍牛

▲讀者『慶北東海岸に鰊の大群が來たそうだ』あわて者『そりや大變だうつかり朝鮮にも居られない』　義州　久佳祭太郎

◎一寸なし秀逸に乏し諸君の御奮鬪を望む(係)

課題募集規定

▲募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲[illegible]

● 博多帶で捕はる

原籍茨城縣東茨城郡小松村[illegible]市野澤[illegible]は傲て信義の性質の惡しきを覺[illegible]して遊蕩に耽り共ま〻同家を逃走[illegible]みたるを仁川署[illegible]目下取調中

[illegible]尾に眞吉、[illegible]男、[illegible]三郎、本田潤[illegible]

天氣　北西の風晴(十八日午後[illegible])

東京巖松堂書店編輯部編

朝鮮六法全書　全壹冊

印刷鮮明◎內容豐富◎四六版六號三段組◎總布上製　校正嚴密◎製本堅牢◎七百餘頁

定價金一圓八十錢　送料金二十錢

最新刊

本書は朝鮮現行の法令中、重要なる者の全部を網羅し、之を憲法以下產業に至る、十二輯に分類彙集せる者にして、內地に於て最も完備したる、六法全書の全部に朝鮮施行の法令を加へたる者、無慮三百餘の多きに及ぶ、在朝鮮の官民諸彥は、此一本を備へらるれば、別に內地の六法全書を要せざるなり。

朝鮮官民必備寶典

賣捌所　京城太平町　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

內科　小兒科　村上病院

京城永樂町一丁目(品商陳列館前)　院長　醫學士　村上龍藏　副院長　熊本醫學士　松下三雄　電話六二三番

金剛飴と栗羊羹

本町二丁目　龜屋商店　電話二十七番　四七五番

十人が十一人共　金鷄香水

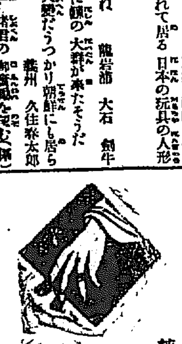
痔核。痔瘻。脫肛。直腸脫。痔出血。裂痔　外一般

京城長谷川町安東病院內　久枝肛門病專門醫院　電話七三番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます

クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです

京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番振替七三七番



…はれんとしたるも身元引受人無きより…從兄弟に當る龍山在住の市野澤三…係に引受人たらん事を懇請したるが…せられたるが二月初旬前擧の渡邊某より博多帯外一點を借受けたるを入…

●連絡船上陸客 二月十七日午前九時釜山入港新羅丸一二等客（一等三名外人三名二等廿八名）大倉正人、…
港さくら丸一二等客（一等五名米原虎之助、白川友一、米國人一名（二等七名中村幹一、河崎久米太郎、石根田實…

◇新たに就學する兒達に
怎んな注意を與へて置きたい
＝學校へ早く行つて見たいとの感じを強くするやうに＝

子供は一度注意した事を長く覺わてゐるものではないから今日の事は朝學校に出る時話して注意しなければならぬ。例へば途中寄道しないでサツサと學校に行くやうにと晩注意して置いても翌日になればもう全然忘れてゐるから

◇朝簡單に注意する

事が肝要である。但し危險な所に立ち寄つてはいけませんなど云ふのは無駄言である、何故かと云へば子供はどんな所が危い所やら分らない、それよりも人道をサツサと歩いて道草を食はずに學校に行かないと學問が上手にならぬとでも云つた方が優つて居るそれから又朝の注意として

◇下駄や草履の紐を

よく調べて悪いのは取り換へてやらねば雪の日や雨降りの日に鼻緒を切らして苦しみをすることが度重なると、雨や雪の日に學校に行くのを厭ふ様になるから注意すべき事だ。それに學校用具、鼻紙、手拭等忘れないやうに注意を與へる事も怠せにしてはならぬ。子供が學校に行くのを喜ぶのは

◇袴を穿くことやら

鞄を肩にかけることやら大勢一所に行く事なども原因の一つでありますが、親達は更に此の上に學校の先生は親切で面白い方で、何でも物知りで、母さんなどの知らない面白い珍らしい話を澤山御存じで學校に行くとそれを話して下さると云ふやうにして、學校は面白い處

◇先生は親切な優しい

方だ、早く行つて見たいとの感じを一層強くする様にしなければならぬ角兎世間では子供が悪戯でもするとよく『お前の様に悪戯をすれば學校へ行くと先生に叱られますよ』だとか『可い加減にお仕ー學校へ行つて先生に云ひ付けて上げるから』などと行きもしない先から先生を出しに使つて

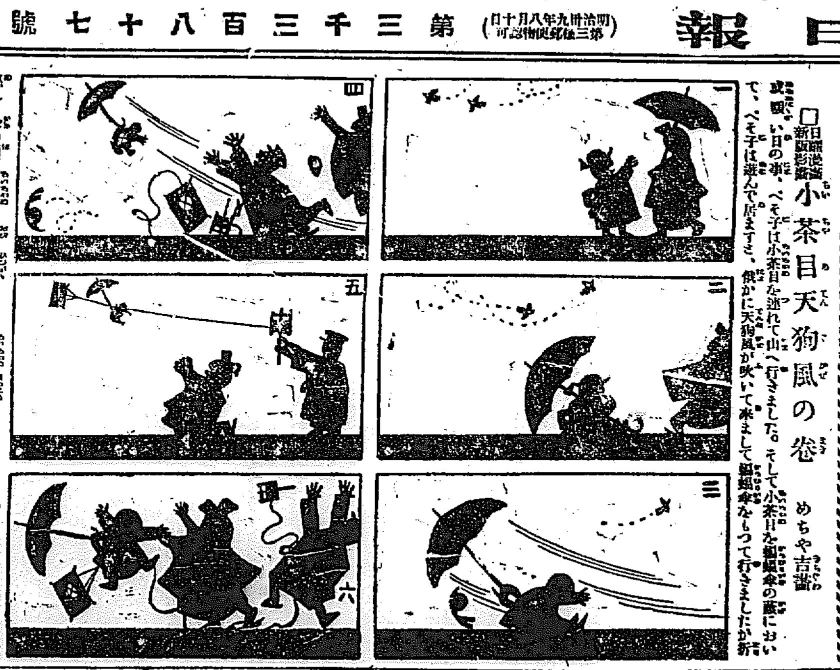
◇子供を頭から威嚇

して先生を恐いものにするのは斷じて宜しくない。それから呼ばれたら直ぐ返事をする習慣もつけて置かないと先生が名を呼んでも一向返事をせず先生を大層困らす事がある、入學當時には先生の方でも名と顔を覺わてゐないから返事がないと時には缺席につけない事がないでもない、

◇月末の出缺調べを

家庭に送ると、一日も缺席しないのに缺席となつてゐるのはどう云ふ譯でせうなど、厳しい抗議を申し込む例もある平素から姓名を明らかにしてはつきりした返事をする習慣さへつけて置けば此麼事はない筈である それから入學前に學校の樣子を見に連れて行つて學校と親しませ置く事も大切な事である。

□日曜漫畫 新版影繪
小茶目天狗風の巻
めちや吉畫



或暖い日の事、ぺそ子は小茶目を連れて山へ行きました。そして小茶目を蝙蝠傘の蔭において、ぺそ子は遊んで居ますと、俄かに天狗風が吹いて來まして蝙蝠傘をもつて行きましたが折悪しく傘の柄が小茶目の帶に懸つたので小茶目諸共、アレヨ〳〵と云ふ間に飛行機の様に高く〳〵騰つてしまひました。これを見たぺそ子やお友達の凸坊は大喫驚、僕が助けてやらうと凸坊は大急ぎで凧を揚げて、マンマと凧の糸を小茶目の體に絡ませてとう〳〵小茶目を無事に助けました。めでたし〳〵。

春の半襟
＝今年の流行は矢張り小＝北式の美しい刺繍模様＝

池の面の氷も解けて垣の根方には何時か若草が萌わ初めた桃色や石竹、翡翠など、晴れ晴れとした

◇流行色 が呉服店の店先で柔かい春風に靡いて居るが、若い婦人の襟にも戀てとり〳〵の春の花が咲き誇らう半襟の模様は相變らず小花式で、殊く刺繍をしたものが喜ばれて居るけれど

◇二三年 以來見捨てられて居た平縮も、チラホラと甘然や背縫ひの間に現はれて、金絲や銀絲に分ちぬ光澤を示して居る、銀絲よりも金絲が多く使はれて居るのも多少趣を變へた今年流行の襟の

◇特色で ある地色は季節柄淡い色が多く…分澁くはなつて居るけれど、それは主に華美に就て言ふことで、濃淡や金紗縮緬の青磁コバルト、藤色、淺黄、青等は白い顔映に、一層色

◇榮わて、麗はしく、櫻の花は白や淡紅、幹は黒か青黒で青い葉のあしらはれた山櫻に銀の霞櫻吹雪に金紗子、背に共系の小櫻を密集した

◇花の匂 ひに金系と黒がチラチラして居るもの、或ひは櫻の立ち枝に源氏の香の圖や、花車の片輪を配した濃艶なもの、石竹に銀と黒の霞を現はした瀟洒なもの

◇鼠地に 共系の楔と云ふやうな上品なものなど色々ある、又意匠の飛び離れて變つたものには金紗紋縮緬の

◇其地紋 を應用したもの、鱗麻の葉の使ひ分けに直線の美を現はしたもの、又襟の中通りに銀、鼠、白などで、花菱、藤の花、房などを縫ひ出したものなど美しい絞りの襟も絞りの中に

◇彩色を 交へるなど、意匠先らしく工夫されて居るが、現に刺繍にも絞にも最う有らん限りの工風が凝らし盡されて居るから、此次の流行は纎緻を極めた、染に戻りはしないかと思はれる

▲牡蠣汁 かきを鹽水にて洗ひ酒鹽に煎りて摺鉢にて能く摺り延し鍋へ入れ煮立て上に浮上り泡を取捨て…り身にはつぶし豆腐を用ふ晒粉をふりかけて併める

□演藝案内

天然色活動寫眞株式會社輸部一手代理店 早川直營 電話二六三七 **黄金館**
▲二月十六日より臨時特別大興行 ▲タラシ二十三號…▲西班牙… ▲米國ユニバーサル會社作 ▲泰西大活劇兒の秘密 ▲天然色活動寫眞… ▲少年探偵水戸三郎丸波近記 全五卷八十場 ▲名題千役 ▲大阪毎日新聞連載小説菊池幽芳傑作 ▲家庭劇 毒草 全七卷百五十場 …

本町五丁目 **稲荷座** 二月十八、十九、廿日三日間 主催者 若葉會
若葉會素人浄瑠璃臨時大會（午後六時開演）
△十九日語り物 ▲忠臣藏三段目（魚水）▲合邦が辻… ▲大さ… ▲艶女房吝かけ村（千雀）▲明烏… ▲山名屋（金蝶）▲蝶花形八ツ目（昭栄）▲三勝半七酒屋の段（喜堂）▲中將姫… ▲寄貴（南次太夫）▲三味線（竹澤小庄）

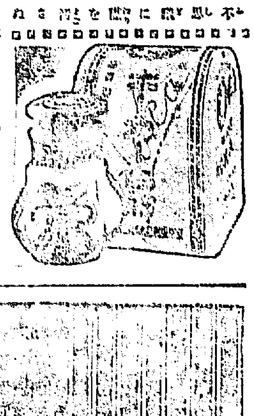
櫻井町 電話八七三 **大正館**
日本活動寫眞株式會社特約常設館 ▲二月十六日より特別大寫眞… ▲米國キーストン會社… ▲英國クリーブランド會社… ▲英國の戰爭…

明治町 電話二六〇 **浪花館**
大阪親友派浪界之別格竹川馬生再渡 毎夜六時開演 讀物は毎夜替り △義烈百傑（一夫）△名人小刀… △義士銘々傳（十六歳少女吉田奈良丸）△難波戰記（長齢二勝竹川馬生）

御成町 電話二九一 **御成座**
中村梅昇一行 十一日目…

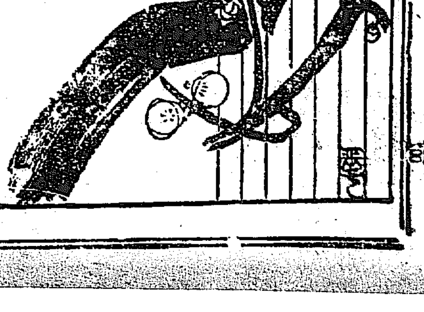
貝と蔬苗
…東京 大田 **東亞社**

ノリとピノとの優れて好い新發見
ホーカー白粉
他に類なく白さの異ふ



㊀自然らしい白さにつく
㊁斑なくお化粧崩れがしない
㊂皮膚の營養劑を含む
㊃洗つたあとまで白い
㊄自由自在のお化粧ができる
▲最寄の店に品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舗へ御注文下さい
●●姉妹品 ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液 ホーカース井ート
本舗 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店 振替口座東京一五六…

霜雪の裡に 馥郁と匂ふ梅の如く
餘寒嚴しき此頃
婦人良藥
中將湯
を召上れば
婦人病を知らず健康で
温かな春の心地



中將湯主治効能
●子宮病 ●内膜炎 ●こしけ ●氣ふさぎ ●背肩こり ●難産流産 ●逆上 ●血の道 ●腟加答兒 ●下腹痛み ●癇高ぶり ●逆上頭痛 ●産前産後 ●月經不順 ●婦人神經 ●白帶赤帶 ●胸先差込 ●夜眠れず ●腰足冷込 ●つはり ●經期腹痛

婦人衛生手引 御申越次第進呈（但要郵券二錢）

定價 二日分 一週間 二週間 三週間 五週間 十週間 [illegible]

本舗 東京日本橋通四丁目 津村順天堂本店
大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店

中將湯は世界到る處の藥店にあり市内配達無料

明君道中記

第六十二席　田邊南龍口演

駿府城内より貝太鼓を打鳴して押出したる總同勢千五百人、先陣二陣と隊伍を分ち第三番は御本陣浦にて旗馬印を押立て、大納言忠長公は紺糸の腹巻に白檀磨きの小手臑當、紺緞子の陣羽織に裏金の陣笠を冠り、銀作りの太刀を佩き、鹿の皮の向臑を附け金の采配を携へて青毛の駒に金覆輪の鞍を置き鎧甲繼ぎの鐙を踏張り紫縮緬の手綱を掻繰つて乘出す前後に從つたる騎馬武者は各々弓矢を提げ、黄緋紺紫黒糸の腹巻を着し何れも馬上にて總を守護いたし、後殿は朝倉筑前守の人數其他兵糧小荷駄に至るまで取揃へ一同は鬨を作つて押し出したが、昔に聞へた安養寺山より鞠子の奥を指して進みて山狩をいたしました處何年にも手を入れたことの無い殺生禁制の場所、其處を狩立ますのでございますから猪鹿の類、或は狐、兎、種々の獸物を山の如くに射取りました故忠長公は大いに喜んで自ら馬を進めまする、其の騷ぎ一方ではございません、處へ安養寺の住職了山と云ふ者が名主二人を伴れて御本陣へ參りまして、殿樣へ御目通りを願ふと云ふ故此を忠長公に申し上げると、何事なるか此處へ呼べとの仰せ故了山を御本陣へ通しました、忠長公御覽あつて 忠「其方は安養寺住職了山と申す由何事あつて罷出た 了「恐れながら申し上げます當所は殺生禁制の場所我々共凡慮を以て踏荒しますれば立どころに神罰を蒙ります、其の理由は此の奥山に一ツの祠がございます、此祠は白猿を祀りましたるものにして是を山王の社と申し傳へました 忠「何故猿などを神に祀り居つたか 了「左樣にございます、是は昔今川五郎氏親此の地の領主たりし時、或夜奇異なる夢を見ました、其の夢は枕頭に白猿現はれまして我は此の地に久しく棲む白猿であるが、祠さして我を祀らば微ながら今川家の武運長久を守り遣はす、夢々疑ふことなかれといふ告げ、五郎氏親は直樣此の鞠子の奥に一社を建て祠に祟めました、鳩は八幡宮の遣ひ使命猿は山王の遣ひ使命故是を山王神社と名付け、又旗の紋に見まい聽くまい語るまいの三猿を用ゐる然るに戰をするに對ふて猿すといふこと無く、遂に近國の敵を切從へ駿遠三三箇國の大領主と相成りました故、五郎氏親は守護神として是を祟めたと云ふことでございます、かゝる靈驗ある御社なれば神罰の程も恐しく、御身に過ちあつては相成りませぬ故此の山狩立の儀はお止り下さいまする樣 忠「默れ、人は萬物の靈長猿は何である、鳩を祀つて八幡と稱し猿を祟めて山王なぞと申すは大いなる心得違ひ、苟も忠長は三州の大領主其領主たる者が領内を狩立るに何の祟りかある、左樣なものがあるゆゑ汝等のやうな愚なる者が迷ふのである、宜し忠長が燒拂つて其の禍を除いてくれる」と了山の留めるも肯入れず馬を煽つて乘出し 忠「ヤア／＼者共彼處なる山王の社へ鐵砲を射込め」と御下知をなされましたソコで鐵砲組の足輕も無據五十挺の鐵砲を筒口を揃へて社を臨んで射込みました故忽ち社は燃上つて火焔天を焦すばかりに立上る、スルと中より大いなる雌雄の白猿二疋飛出して向ふの方へ逃げて行く、是を見て忠長公 忠「ヤア誰かある彼の猿を射止めよ」と下知の下より加治木源右衛門一散に驅けて參り、携へ參りし弓に矢番へて兵と射たが其の矢は猿の頭を掠めて向ふへ飛び行く、其の内に不思議にも何處ともなく退散をいたして姿は掻消す如く見えず無くなりました

内科 小兒科
院長 醫學士 森定吉
京城本町一丁目 五期會社向側 芙蓉醫院 電話二六二三番

婦人科 産科
二宮醫院
京城壽町四一
醫學士 二宮亮吉 電話二三〇一番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進販賣 鳥毛類高價買入れ
毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城二四九九番

二月二十日 九星
舊正月廿九日癸巳
木命 九紫 南 定 大安

▲九紫 大望の起る日讀んで新事見合 西方は吉 [illegible] ▲一白 食かぶりの事有る日注意 新事手控將來は吉 女難失物用心の事▲二黑 [illegible] 入學金件名弘家作米職株上 [illegible] ▲三碧 新押のさく日轉居入學金談名弘 [illegible] ▲四綠 [illegible] 轉居開業入門名弘水 [illegible] ▲五黃 忠實の日轉居開業等皆吉 女子は物の指南を始るに妙なり 待人來る▲六白 不評千萬の事有る日新事手控將來は吉 交際に注意せらるべし▲七赤 いんき臭き事有る日 新事手控將來は吉衛生に注意せらるべし▲八白 浪靡なる日轉居旅行入學名弘金談求職縁談取嫁子女を 定る等萬吉

工事請負公告

一、順化院配膳室及附添人食堂増築工事

右工事請負入札ニ付入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上トス
入札者ハ京城府内ニ於テ國稅、地方稅、學校組合費年額貳拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ二年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
入札ハ大正六年二月六日京城府條例第二號ニ依リ五年六月附ス希望ノ者ハ本府ニ就キ入札仕樣及仕譯書現場說明ヲ二月廿二日午前十一時限リ熟覽ノ上入札スヘシ即時開札ス
此契約ノ係ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔任ス

大正六年二月十七日　京城府

新荷著 ベルソツプ製 アンクル懐中時計 (鍍側)

(ニツケル側)十八形 (片蓋) 一圓九十錢 … [illegible]
(鍍側)ラヂユーム入十八形(兩蓋) … [illegible]
(銀側)金縁賞應十二形(片蓋) … [illegible]
(金張)(十年保證)(十年保險)十八形 … [illegible]
遠行腕巻時計 十三形ラヂユーム入 … [illegible]

右今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店には無き所のもの伏して御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッソレー商會

りん病
急性慢性を問はず博士の最新發見の藥配合の淋病一圓を用ひれば金治迷なり七日分一圓九十錢 本藥は他店に御買せず直接本舖に御注文あれ
京城黃金町三 振替京城三三一七番 山田文殊堂藥房

胃腸新藥 ヂゲスチン

日本藥局方 十三ヶ國新製劑 胃腸疾患、食慾不進、消化不良の恢復期、病後補給の目的にて胸の疾患小兒の發育不良等に實用せらる
常用すれば血液を増し精力を盛んにす
◎說明書進呈
東京本町 合資會社 圓城商店

●色の黒い人はない筈
色の黒いのは生來で、どうする事も出來ないと云ふ人は時勢後れである、なぜなれば何處の小供も皆色白に生れて居るを見ても自然に美しくなる如く男も女も生れつき色白になれるのである、從ひ色黒くてもニキビ、ソバカス等の天性の美を損ふめに消化作用のよくなる為めに此の本舖で調劑せる驚くべき効果ある內服藥を服用せられよ說明書無代進呈 東京市麻布區箪笥町六番地 三協製藥所

デピラトリー
いか程ひげこわき人かみそりの毛嫌な子供もつけて奇麗にとれる不思議除毛皮膚に無害
▲價卅錢▲中五十錢▲大一圓▲送料八錢 郵券代用一割増
東京兩國新小梅町 振替東京七十二番 東京酒戸物町 玉置製造所 玉置商會

御料 御園白粉

高尚な化粧榮と
御園白粉

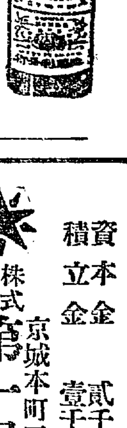
御園白粉は十有餘年と云ふ永い年月の經驗に依り、常に其原料と製法に改良を加へて居りますから、ノリとノビとが非常に良く、誰方にも極めて容易く濃化粧も薄化粧も自由に美くしく着き、其化粧姿の高尚な點に至りましては到底他の白粉では見る事が出來ません。

肌膚が荒れたり、硬ばつて白粉が思ふ樣に美くしく着かぬ時には、肌理を細かく滑かにし、白粉の附着をよくする白粉下御園クレームをお塗け遊ばすに限ります、御洗面後、入浴後に缺かさず白粉下御園クレームの少量を薄く斑のない樣に掌で均で込みますれば、何んな荒れ性のお方も決して肌膚の荒れる事なく、塗ける度毎に肌膚が柔軟に肌理は細かく滑かになりますので、白粉は思ひの儘に美くしく高尚に着きます。

御料御園化粧品本舖 伊東胡蝶園
御料御園化粧品發賣元 丸見屋商店

214)

淋疾內用
ブレノリン
本劑ハ「ヘキサメチーレンテトラアミン」ト硼酸トヲ結合セシメタル新化合物ニシテ「バルサム劑」ト異リ之ヲ適用スルモ毫モ胃腸ヲ害セズ容易ニ吸收セラレテ尿中ニ分泌シ尿路ヲ消毒シ且殺菌作用偉大ナリ。
急性、慢性、淋疾及消渴、膀胱尿道加答兒ニ實用ス
宇野博士緒方博士櫻根博士ハ本劑ノ治驗報告ヲ發表セラレタリ。本劑ハ粉末及錠劑アリ。
各地有名藥舖ニアリ 說明書進呈ス
東京室町 三共株式會社

誰人も云ふ樣に最良の健康法は早寢、早起と
美味 滋養 蜂印香竄葡萄酒を
毎朝夕一杯づゝ飲む事です!!
◎朝飲めば 其日一ぱい元氣よく
◎晩飲めば 疲れは癒りよく眠る
本酒は優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる優良品にして
全國到る處の藥店酒店にありて最も活潑なる賣行を呈しつゝあり
內外各國の金銀賞牌廿四個受領

東京本町 近藤利兵衛

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害
攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

內科 胃腸病科 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二〇九番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
支配人 西村道彥
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

京城日報　第三版
二月十九日（夕刊と合せて八頁）
京城太平通一丁目　發行所　京城日報社

…して亞米利加インターナショナル、コーポレーション…
…カレー會社…れに日本を加入せしむる事は支那人…の豫想外の事なりき亞米利加インターナショナル、コーポレーションの…讓する以上は或は鐵道敷設權の一部…
…一面氷原となり汽船の航行全く杜絶…變は出帆するに至りたりと又郵船三…作業し居れば塘沽迄の汽船の入港は…白河の氷塊を流去するを以て本年は…

皇室中心論（六）
領土擴大と帝國主義
京城日報

我が帝國は、二十七八年役に由りて臺灣を領有したり。三十七八年役に由りて韓國を擧て保護國とし、統監府を置き、次に之を併合して總督府を置けり。ポーツマウス條約の結果として關東州を租借し、南部樺太を恢復し、南滿洲鐵道を讓渡せしめ、日露協約の結果として南滿洲、東蒙古を擧て我が主働的勢力圏たらしめたり。更に青島の役に由りて山東省を以て我が利益圏勢力圏とし、南洋諸島を軍事的に占領したり。是れ固より陸海軍の勁武と官民一致の努力とに由ると雖も、亦た未だ嘗て皇室の稜威に由らずんばあらず。

我が帝國は、二十七八年役の結果として帝國主義の實行を促がし、一方には大陸經營の立脚地を占め、他方には殖民經營の新政策を試み、著々成功の途に上りつゝあり。三十七八年役の結果として我が陸軍は廿一箇師團に増加し、我が海軍は五十五萬噸以上に増加し、我が帝國をして世界强國の伍伴に班せしめたり。而して今や歐洲の大戰に參加して、力を聯合國に藉したる結果として、國際上に於ける帝國の位置をして、一層世界に重からしめたり。是れ同じく陸海軍の勁武と官民一致の努力とに由ると雖も、亦た未だ嘗て皇室の稜威に由らずんばあらず。

夫れ國家の版圖益々大なれば、國防の範圍益々大ならざるを得ず。國防の範圍益々大なれば、經費の支出益々增加せざるを得ず。是れ自然の勢也。國際の位置愈々向上すれば、帝國の任務愈々重きを加へざるを得ず、帝國の任務愈々重きを加ふれば、國民の結束愈々緊密ならざるを得ず。是れ亦自然の勢也。日露役以前の帝國は島國也。而して日露役以後の帝國は大陸國也。日露役以前の海防は日本海に於てせざるを得ざりしも、日露役以後の海防は、支那海に於てし、進みて太平洋に於てせざるを得ざるにあらずや。日露役以前の陸防は朝鮮に於てせざるを得ざりしも、日露役以後の陸防は南滿洲に於てし東蒙古に於てせざるを得ざるにあらずや。更に一歩を進めて論ずれば、日清、日露兩役前の純乎たる大和民族を統治す[illegible]りしも、日清日露兩役後の[illegible]臺灣人を統治し、臺灣の蕃族を統治し、朝鮮人を統治し、滿洲人を同化し、更に南洋の庶民をも同化せざるを得ざるにあらずや。而かも本國と朝鮮との交互一致を固うし、朝鮮と南滿洲、東蒙古との關係を一層密邇ならしむると同時に、本國と臺灣との聯絡を緊接せしめ、臺灣と南洋諸島との聯絡を貫通せしめ、之を打て一丸と爲さんとせば、帝國主義を實行せざる可からざるの必要あるにあらずや。上述の如き國家的問題を處理し、整調し、解決し、國際上に於ける帝國の位置を重からしむるに於て、果して政黨主義の能くする所なる乎。果して政黨中心主義の能くする所なる乎。是れ必ずしも識者を待て而して後ち知らざる也。

朝鮮の畜産（一）
當局の施設事項

畜牛は朝鮮の農業組織上缺くべからざる要素にして田圃の耕耘收穫物の運搬、穀物の調製等牛力に俟たざるなく又貨物の運搬にも畜牛を使役すること多し朝鮮牛は體質强健性質温順にして最も使役に適し又肉味佳良なり加ふるに其生産饒多にして價格低廉なるに依り役用及び肉用として内地及び露領亞細亞に輸移出せらるゝもの尠からず、又牛皮は其の産額多く主として内地及び支那に輸移出せられ生牛と共に朝鮮の重要輸移出品たり、豚鷄肉及び鷄卵の需要も亦頗る多し

斯の如く朝鮮に於ける畜産は産業上重要の地位を占むるを以て日韓併合以來當局に於ては之が改良增殖の奬勵に力めつゝあり、今畜産に關する施設の各項を略述すれば左の如し

▲種牡牛の配置　朝鮮人は由來畜牛の蕃殖上種牡牛の選擇に重きを措かず且つ近年内地及び露領亞細亞に比較的優良なる畜牛を輸移出せしに因り畜牛の體格漸次劣等せんとする傾向あるを以て之を改良する爲め明治四十三年度に於て北部産優良種牡牛十六頭を京畿、忠北、忠南、全北、全南、慶北、慶南及び黄海の八道に配付し大正元年度に於ては同三十五頭を忠北、忠南、全南、慶北及び慶南の五道に配付せり

▲其の他種牡牛購入費として大正元年度に於ては京畿、黄海、平南、平北、江原、咸南及び咸北の七道に五千七百六十圓を大正二年度及び三年度に於ては各道に九千五百圓を同四年度に於ては京畿、忠北、全北、全南、慶北、慶南、黄海、平南、平北の八道に三千六百圓を大正五年度に於ては京畿、忠南、全南、慶北、慶南、黄海、平北、咸北の七道に三千五百八十圓を補助して種牡牛を購入せしめ或は道に於て飼養して巡回種付を行ひ或は飼料を補助して篤農家に貸與し附近の牝牛に種付を奬勵せり、當初人民は種々の誤解を懷き稀にして其の成績良好ならざりしも

▲官憲の説諭と誘導とに依り漸次誤解を除去し其成績佳良となり近時に至り農民は官有種牡牛の種付に依り生産したる犢の體格優秀なるを見るに及び益々種牡牛選定の必要なるを悟るに至れり、左に大正二年度以降に於ける官有種牡牛種付の成績を掲ぐ

地方	大正二年度	大正三年度	大正四年度
京畿道	一、七四六	二、九七三	三、三九三
忠淸北道	一、八八七	一、四九六	一、九〇四
忠淸南道	一、二五五	一、八五二	一、九七三
全羅北道	五八一	七五四	一、五八七
全羅南道	三〇五	五五七	九三七
慶尙北道	四七〇	九九〇	二、四二〇
慶尙南道	一、九四六	一、八六六	三、一九六
黄海道	四六二	六二五	八一九
平安南道	一、二一八	一、六七七	二、三四六
平安北道	一、一八一	一、一九五	一、七〇七
江原道	八六五	二、四二三	五、六五七
咸鏡南道	二、九四四	二、七〇八	二、七二八
咸鏡北道	四、四三六	七、九五二	九、一八七
計	一九、一九七	二七、〇六七	三五、八〇六

獨逸の策戰
今春の計畫如何‖露國追擊か‖封鎖突破か

獨逸の英國封鎖宣言後は殆んど陸上に於ける戰況の傳はらざるは之れ恐らく獨逸の海上のみに活動を開始せると同時に聯合軍側に於ても氣候其他の關係上花々しき戰爭の展開を見ざりしに依るならんも獨逸は一と先づ海上の活動を終りて氣候春暖に向ふと共に更に陸上に於ても一大活躍をなすべく聯合軍亦之に應じて一大決戰の行はるべきは明かなり されば獨逸が今春の策戰には如何なる方法を推して吾等の前に出動し來るべきやは興味深き大問題たらずんばあらず露國通信が封鎖突破か今倫敦タイムス軍事評論家がタイムス紙に寄せたる獨逸今春の策戰は頗る面白きものあれば之を摘錄せんに

昨年夏敵が各方面に於て守勢を取りたる後、秋季に入りて羅馬尼方面に進擊したるも遂に守勢の大勢を轉回するをなくして今に至りたり昨十二月中旬の敵軍の配置を看るに西部戰場には百二十八箇師團を露西亞方面には百六箇師團を羅馬尼には二十九箇師團をマセドニア前面には十二個師團を更に伊太利方面には三十三個師團を備へたりしが故に獨逸が羅馬尼占領後此方面の兵力を他方に割かざりしものならば目下露國方面に對しては百三十五個師團を有する計算なり斯の如き軍の配置は全く獨墺の地利が戰場の中心を守つて四方を展望しつゝ坐ながら兵を動かすを得るが故にして殊に秋季の降雨の際に聯合軍が其兵力の配置に或程度の障碍を感ずるに當りて益々其有利なるとを現はしたり然れども獨墺を通じて益々顯著なる一般民衆の

▲戰爭倦怠の情　はヒンデンブルヒをしてブカレスト占領の時を以て獨逸軍全盛の頂點に達せるものなることと及び此際平和を締結するの最も策を得たるものたる事を皇帝に奏上せしめたりと傳ふるも必ずしも無理ならぬ事なり吾等を以て看れば獨逸軍の勝利は剩餘の勝利に非ずして負債を起して贏ち得たる勝利なるが故に此際其提議する平和條件に多少にても聽かんとするものあらば時機を逸せず其商議に應ぜざるを得ざるは見易き道理にして殊に守勢に勝を制し得たる事は固より今後の攻勢に勝を制し得べきを語るものに非らざる以上獨逸の焦慮措かざるは誠に其敗たり所詮我軍が數に於ても亦軍需品の點に於ても優勢を占めて以て

▲如何なる方寸　を有するやを付度するに先づ西部戰場に對しては敵は再び攻勢に出づるの勇なかるべく又其方策にも出でざるべきは略ぼ推測するに難からず伊太利に對しては幾に有せる三十三個師團に新に二十個師團を增援して此大軍を以て伊太利を壓迫せばヒンデンブルヒは何事かを爲し得ざるに非ず五月を以て行ゝ餘地ある墺軍の伊太利攻擊は瑞西の中立侵害と相俟つて注意の價値ありと信ずれども之を露西亞方面の敵の進擊に比する時は未だ何程の事もなし獨逸が露西亞の壓迫を感ずるの一事は一日と雖も止む時なくヒンデンブルヒは實際其有する百三十五箇師團の兵力を繰出して猛烈なる露國進擊の擧に出でん實力を備へ居り露西亞は今年こそ此方面の戰爭に其の運命の係る勝敗を決すべく全力を傾倒せざるを得ざるべし殊に獨逸はセレート河ブルート河の線を確保しダニューブ河口に出でて黒海々上に潜航艇を浮ばしめんとする慾望もあるべく或は

▲春暖五月に入らば一旦此方面の總進擊となり露軍之に應せる一呼吸に獨墺兵は伊太利國境に於ける發達せる鐵道の利用によりて突如軍を北進せしめてペトログラードの進擊となるの恐れは未だ全然とれなしと謂ふ可からず此他土耳其方面の戰鬪問題あれども之れを除けば次に來るべき戰鬪の展開は則ち海上方面なり今日墺地利海軍が何程の活動を爲し得べしとは信ずる能はざれども獨逸の北海に對する運動と相呼應して何事かを爲すべき事はあらざる無きや若し獨墺の經濟的形勢にして實際此上の窮乏を許さゞる底のものあるに於ては彼等をして其海軍を以て自暴自棄の餘り封鎖突破の擧に出づるの最後の決心をなさしめずとも限らず愈々此の突破は敵の生死を決するものなるが故に其狂暴の程度は或は意外なるものあるべく吾等は一刻たりとも此點を閑却するを得ざるべし云々

在支各國銀行

十九世紀以來歐米列强は競ふて東亞に勢力を張らんとし先づ銀行事業の經營に着手したるが現在支那に於ける各國の銀行現狀は凡そ左の如し

▲英國三行
●匯豐銀行（資本）一億五千萬元（本店）香港（支店）北京、天津、漢口、上海、青島、哈爾賓、大連
●麥加利銀行（資本）百萬磅（本店）倫敦（支店）上海、漢口、香港
●有利銀行（資本）千五百萬元（本店）倫敦（支店）上海、香港
▲佛國二行
●東方匯理銀行（資本）千八百萬元（本店）巴里（支店）上海、漢口、北京、天津
●中法實業銀行（資本）二千萬法（本店）北京
▲獨逸一行
●德華銀行（資本）七百五十萬兩（本店）伯林（支店）香港、北京、天津、漢口、青島、濟南
▲和蘭一行
●和蘭銀行（資本）四千三百六十五萬元（本店）…（支店）上海、香港
▲露國一行
●露亞銀行（資本）三千五百萬留（本店）彼得堡（支店）上海、漢口、北京、天津、大連
▲白國一行
●華比銀行（資本）五百五十萬元（本店）…（支店）北京、上海、漢口、天津
▲米國二行
●花旗銀行（資本）六百五十萬元（本店）紐育（支店）上海
●中華懋業銀行（資本）六百萬元（現在設立中）
▲日本三行
●正金、臺灣、朝鮮の三銀行あるも省略す

桂公傳の出版

○明治時代の一大政治家たる公爵桂太郎の傳記は蘇峰徳富猪一郎氏總裁の下に編纂成り故桂公爵記念事業會より上梓せられたり

○桂公爵の逝去せらるゝや男爵澁澤榮一若槻禮次郎柴田家門等諸同人相謀り公の功績を永世に記念せんが爲に故桂公爵記念事業會を設け三事業に着手したり其一は濟生會病院内に桂公病床一備付其二は桂公奬學基金設置にして其三は桂公傳記編纂の事業是れ也而して桂公傳記は公爵生前の遺囑に依り徳富蘇峰氏之が編述の委任を受け一昨年一月以來編纂局を設け編纂員を督し各方面に亘りて蒐集したる秘籍及び公私文書に由りて編纂の功を竣り客臘以來印刷に着手せしが此程に至り愈々其の上梓を見るに至れり

○本書は桂公を中心として明治時代並に大正時代の初期に於ける公の事蹟を叙述したるものに屬し公が大政治家としての面目風丰紙上に躍如たり殆ど政治家的傳記の最上乘に位するものに庶幾し

○本書は乾坤兩卷にして其の紙數二千三百頁以上に達し其の書中に挿入したる公爵を始めとし伊藤山縣諸老の手東並に寫眞圖畫版の如きは秘藏に屬するもの多く容易に得可からざる逸品にして而も大手と相待て本書の精彩を發揮したるものと謂ふべし

○本書は先づ乙夜の覽に供し公の墓前に捧げたる上にて特に桂公記念事業會に關係ある人々に限りて頒布せらるべしと云ふ（東京一記者）

悼ゝ逸鹿

○今ぞ詩を知る梅咲いたことよ　浮碧樓
○氷柱バサと落つ襟かき合せ　芳草樓
○佛の茶を煮ようとする冴返る　華虹
○梅になかりし恋の主とも思はゞや　鳥堂
○柩に句の其を納めて
雪の梅より冥土への句行脚や　日池

日報詩壇

○夢寐臨（限韻）　伊藤半溪
鶴背翺翔萬里風。芙蓉峰上玉玲瓏。醒來恍惚宸翰趣。却見遠山浮碧空。
夢魂昨夜度青空。八朶芙蓉縹渺中。好是御題題意盡。雪山今望五雲東。
評曰　婉秀満人骨

○同上　成田魯石
右呼紅友左青童。好夢欲頒仍夢中。遍爪依稀十年跡。十年前金銀泉外雪玲瓏。
評曰　句句絶塵。颯來恍惚欲仙

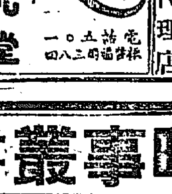
○元旦偶成　齋藤三寅
草屋三間別有春。不逆俗客待詩賓。開窓先納遠山雪。朗映玉壺天地新。
評曰　清新俊爽。以興趣勝

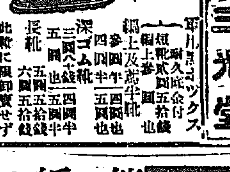
○新年口號　七十八叟　高井椿堂
笑我元朝不出門。膝前嬉戲兩三孫。梅花未發賓猶満。好把春杯酌翠恩。
評曰　和雅穏消

○探梅　藤倉蘇陰
曳杖遥遥雪中。溪頭梅發促吟筒。歸來只恐山妻妒。脈脈香撝襦袖風。
評曰　化陳成新

一石　一標
有償買ス　詳細ハ大正六年貳月十七日朝鮮總督府官報ニアリ
四千五百本
以降ノ　朝鮮總督府臨時土地調査局

社員
數名採用す希望者は自筆履歴書携帯午前中本人來社相成度候
京城南大門通二丁目　大同生命保險京城支部
同太平通二多田不動産信託所内　大同生命京城代理店

筑前琵琶
並附屬品
販賣

博多下西町　三光堂　電話五一〇　振替福岡三八四


軍用ボックス（耐久底金付）短靴貳圓五拾錢
編上參圓
編上及普牛靴四圓也　參圓半
深ゴム靴三圓八十錢　四圓半　五圓也
長靴五圓五拾錢　六圓五拾錢
比較に限り卸賣せず　代金引換必御斷り
▲照會往復葉書　▲送料四拾錢
諸官省各學校指定靴御用達
東京神田淡路町角本店　京橋町支店
近來ボール紙入の粗製品賣る靴屋有注意を
柴田靴問屋

東洋唯一運轉手及修繕製作技師養成
自動車學校
三月一日開校　校外生及通學生の二科あり年齡不問採用半年卒業規則進呈す自動車界は内外共益々有望成功の近途也
東京市京橋區南紺屋町

時事叢書
第一編より全部取揃高需に應ず
早大教授 原口竹次郎著　廿九編　現代の亞米利加
龍平 白岩氏著　三十編　揚子江沿岸
文學士 安部著　卅一編　戰後の獨逸
各編讀切博士諸大家執筆●定價金廿五錢●郵税四錢
ウイルソン大統領の堪忍袋の緒は切れたり今後對獨の態度如何此時に當り米國人の心理を讀まんとするの士は現代の亞米利加を讀め◎次に揚子江一帶は支那富源の中心列國の白兵戰場にして歐洲の戰雲收まらば中部支那に於ける平和的經濟戰は更に白熱を加ふべく是に新たなるもの世界を左右すべし此地域に於ける政治經濟と日本の位置とを知悉するは邦人の急務ならずや◎最後に戰後の獨逸は如何蓋し戰前の狀態を繰返す事能はざるべし然らば彼は何れの方面に其新活路を求むべきか是れ吾人の眼に映して觀るべき所也右三書は此三大重要問題に向て精説痛論せるもの時事叢書の最新刊にして最も出色ある快著也
東京神田　富山房　振替五〇一

日本少年
三月號
學術的大懸賞
二萬年未來夢
●波間の軍歌　加藤中將
●臺灣人の思出　川村元帥
●雪中の富士登山　水島生
●獨艇の擊沈
●少年小說　子守唄　芳水
●地中の秘密
●怪別莊
●滑稽小說　武者修行　水思
一册十二錢　郵税一錢五厘　半年七册共税八十五錢
東京京橋　實業之日本社

少女の友
三月號
高等女學校入學準備試驗
今様彌次喜多二人旅
▲口語詩　店をのぞいて…　星野水裏
▲少女小說　心の友…　久保文治
▲長篇小說　三人の小女…
▲歷史物語　忠孝山の由來…　今西吉雄
一册十二錢　半年分七册共税八十三錢
東京市京橋　實業之日本社

二月二十日より
新柄帯側陳列
京城本町　三越呉服店

奉天省官場軋轢落着
陸軍側屏息―張督軍の勢威揚る

奉天に於ける陸軍側と警察側との軋轢に就ては馮德麟、呉俊陞兩中將の調停及び張督軍の毅然たる決心とに依り陸軍側は終に屏息し又此の事件に阨押せし馮麟閣の如きも日本の援あるべきを豫期して終に居据らず或は廣寧に歸還するやも知れず結局張督軍排斥は美事失敗に終り同時に張督軍の勢威益々揚るに至れり倚警務所長王永江氏は十八日夜錦州より歸奉復任すべく張督軍は事件落著と共に事件の辯明を兼ね日支交渉履行打合せの爲め不日北京に赴くべしと（奉天特電）

英軍事公債募集好況

倫敦に於ける軍事公債募集締切の當日（十六日）は異狀の光景を呈したり先づ應募者の倫敦市中に押し寄せ來る者數千を以て數へ各銀行及び郵便局は應募者を以て包圍され依つて警官は是等應募者を順番に整列せしめ秩序を保ちたり倚地方大都市に於ても之と同樣未曾有の好景況を呈せしが就中グラスゴウは最も甚だしかりき（倫敦電報）

獨皇太子軍勝利公報

獨逸公報に依れば獨逸皇太子軍はリボン南方のシャムパーニュを攻撃し完全なる成功を收めたり倚獨軍は二千六百米突の正面に亙り深さ五百米突に達し四個の戰線を襲撃し捕虜八百五十八名を獲たり（倫敦電報）

有松長官山公訪問

有松法制局長官は十八日午前八時三十分東京驛發列車にて相州小田原に赴き山縣公を訪問し要談後歸京せり（東京特電）

米大陸を遍歴して（下）
朝鮮より見たる彼地の農業
勸業模範場長　本田博士談

■テキサスの米　然し日本の經濟界―朝鮮もだ―は米の豐凶高低が常に基となつてゐる。此の重要な農産物の競爭者となるであらうと云はれるテキサスの米産地の實狀は如何であるか、と思ひ予は少なからぬ興味を抱いて約三週日ばかり諸方を馳驅したが決して恐るゝに足らずと云ふ斷案を得たのである、成程土地は非常に廣い、肥えてもゐる、唯用水の十分な耕地は實は極めて少ないで如何に平野は廣くても其の方で稻作可能の面積は大に制限される、場所によつては掘り拔き井戸で灌漑設備を行つてゐる所もあつた、其の井戸は十吋の鐵管を地下に深さ七百呎も掘下げて埋め喞筒仕掛で水を出すのだが費用は一箇所に一萬圓も要るそれに延長七百呎も鐵管を繋いであるから一寸何かの機會に喰ひ違ふとすぐ駄目となり新に其れ丈けの設備をせねばならぬのである、加ふるに勞力が日本の數倍方高い

■米作の狀態　從つて米國の稻作は播種し水を入れそれから收穫と云つた風に頗る遣りつばなしで簡單にするの止むを得ない事情にある草も採らねば施肥もせぬ、稗やガヤと稱する水草が非常に多い、二年三年は投つて置いて辛うじて米も出來るが、四年目になると雜草は米を壓倒するから自然土地を變へねばならぬ、こんな風で面積に於ても産額に於ても著しく制限されるのである今日の所米はテキサスの外ルイジヤナ、ミシシッピー、フロリダ、カリフォルニヤ、カロライナ各州に若干宛出來る、何づれも古くから作つてゐるやうだが、然らば北米全體を合し何程米作地があるかと云ふに三十萬町歩內外に過ぎまい、乃ち水田三百萬町歩五百萬町歩と云ふ說は水利を無視した暴說と云ふ事を實際に於て知り得たのである、倚在米國作付の米種はテキサスで神力、カリフォルニヤで渡舟が主で伊太利出生を主とする白人の耕作者四分の三、日本人は四分の一位だ、然し耕作上の巧拙は比較にならぬ程日本人が上手だ、而して米國産米は不味いと云つて日本人は[illegible]ぬ同胞學つて母國米を口に[illegible]米國の米はブラジル、玖瑪[illegible]ホンヂユラス等に輸出されて[illegible]

■米棉と[illegible]　米國の棉、米棉と云へば索[illegible]いもので世界産棉額の六十[illegible]乃ち六割は米國産である、[illegible]の盛況を十分に說明して[illegible]地帶はテキサス、ミシシッ[illegible]ヘジヤナ等十一州で其の作[illegible]三千五百萬英町歩が千四百萬町歩に相當する、乃ちで之れがどの位ゐ廣いかと云ふに內地の耕地は約六百萬町、朝鮮は三百萬町であるから、內鮮兩地の耕地を合計したより一寸五百萬町歩丈け多い勘定だ、然し其の面積と大仕掛なのには驚ろいたが仔細に各方面から研究して見た結果朝鮮棉作の爲め大に意を強くした

■棉作と朝鮮　予は豫て朝鮮の棉は木も小さいし棉花のつき方も少ない、一反歩の收穫は之れを米國の産棉に比すれば非常に劣るであらうと考へてゐた、然に事實は予の豫想を美事に裏切た、米國棉作地の出來榮は殆んど朝鮮と變らない、否な場所によりては反つて貧弱なのを少なからず見た、朝鮮の反當り棉産高を少ないやうに思ふのは全く誤解だ、乃で予は叫びたい、採算上外の作物を作るより幾らか有利ならば一町歩でも朝鮮棉作の增加を圖らねばならぬ……と、之れ軈て國益を增進し輸入防遏の大主義に副ふ所以であるからだ、唯朝鮮棉作の大擴張を圖るには今少し寒地の栽培に適する種子を選ぶの必要があるであらう、此點に就て予は今後研究をして見たいと思ふ

■益なる果樹栽培　果樹園もカリフォルニヤ州で若干其の狀況を視察した、果物は加州の主要産物で氣候も土質も最適し加ふるに栽培法に於て頗る進歩してゐる、規模の大小其他に於て到底朝鮮産果などは加州のそれの足もとにもより付けない、事實大抵の果樹園には鐵道の引込線を設け果實採收の時期になると何列車若くは何貨車と云ふ多量を滿載して紐育、桑港と云つた所に積み送つてゐる、之等の點から見て朝鮮の果物栽培を將來如何にすべきかと云ふに卑見では現在の如く各地に苹果とか梨とかを少し宛栽培する事は可成之れを避け、よく適當する果物を特に地方的に決定めて其の決定た果物のみを盛んに作る事とする而して採果時期になると地方的供給も無論やらねばならぬが少なくも一列車若くば數貨車位を

■大きな市場　例へば浦鹽とか哈爾賓とかに發送するやうにしたいものである、幾個の籠に果物を貯へその貯へた方々の分を纏めて初めて貨車の半分位にしドコかへ送ると云ふやうな今日の行き方は到底朝鮮果樹栽培の大をなす事は出來ない、加之果物の荷造りに就ても米國の例に倣つて大に改善すべき必要を予は痛切に感じた、之等は追々改良方法を講ずるやう微力を盡したいと思つてゐる

新式の支那語

―ふ字書には玄關、[illegible]手數料[illegible]

[illegible]、打消[illegible]のと日本人[illegible]すら昔い漢學者などは閲つたものだが一旦文明の優者が來つたのを今では『社會學』『天演論』といひ『進化論』といふ[illegible]の漢和字典を使ふ者も來るであらう[illegible]足する上に司法界人材にも缺乏せる[illegible]たる際同地の新四郎次よりモーニン[illegible]盛んで仁川へ和歌山縣和歌山市[illegible]る後更らに永樂町大森社屋人松田[illegible]

時局と哈埠影響

歐戰以來露國の日用需要品は多く之を哈爾賓より購入せるを以て前に講和の飛電到るや物價一時に低落せし處最近米獨國交破裂の報に接し市場は大影響を受けて諸物價亦一齊に激騰し留價格も日に騰貴しつゝあり今近く一週間に於ける日用品諸雜貨の騰貴は驚く可きものにて石油は一箱四元、麥粉は一布度九角、牛肉は一斤一角、大豆は一布度四角と云ふ騰り方なり此他綿布類も著しく騰貴し上海爲替は先月末對銀百兩三百三十九元なりし者今や三百十八元となれり（奉天）

有望なる疊表

農家の副業として經驗及び比較的技術を要せず製作を行ふを得る疊表は全州地方に於ても之れが材料たる藺の栽培容易にして最も未熟なる技術を以てしても一日二枚以上を製作し一枚四五十錢と假定するも一反歩より三四百圓を得る事難事にあらざるを以て之が製作は農家の副業として頗る有望なる事業なるべしと

西鮮補助貨調査

目下西鮮に於ける補助貨は昨冬の如く缺乏と云ふ程度に非らざれば從つて取引に著しき支障を見ざるも銀貨に在りては五十錢銅貨は一錢等不足を告げ殊に一錢銅貨は殆んど缺乏の程度に在りと云も多額に非ざるが兩三日前平壤鮮銀支店より銀銅貨取交せ若干到著したるに付き支店は市中及び郡部に約一萬圓撒布調節する方針にて不取敢商業會議所に補助貨不足の種類及び不足額概算の調査を依賴し會議所は十七日朝より直ちに各商店に就き來る十九日までを期とし其々調査中なれば其結果二十一日頃より希望の向きには隨時直接鮮銀支店に於て交換に應ずる事となるべし（平壤）

北鮮より

▲咸南明太漁の恢復　北鮮明太漁業區域中咸北沿岸は概して明太の豐漁を持續し昨年の漁獲高に對し更に倍加すべき盛況なるに拘らず咸南沿岸は舊臘末以來忽ち稀有の不漁に陷りし爲め一時頗る前途を悲觀され居たり、然るに最近新浦近海にては數日に亙り漸く漁獲順調に傾けるものゝ如く今後約半月を此まゝに推移せんか纔かに昨年の水揚高一萬三千駄を超過すべく豫想さるゝに至れり目下新浦附近に在る明太漁船數は三百八十隻を算せる內角網に依れるもの成績頗る良好にして刺網之れに次ぐ手繰網は總じて大失敗に終り遂に全部漁場を引揚げ居れり因に[illegible]場[illegible]依然一駄二十一圓を下らず

▲有望なる杞柳栽培　咸鏡南道中部地帶に位せる長津郡は由來地勢上主として農作物に依り衣食せざるべからざるを以て農民の多くは自作農産物の外收入の途なく蓄財の餘裕殆ど見るべきものなし、茲に於て農民に對する副業の普及は實に刻下の急務として研究さるゝ事久しかりしに恰も好し長津地方は杞柳の豐富なる事に比類勘きが故に之れが栽培及び改良を企て原料と加工品の販路を開拓し以て同地方唯一の副業とし農民共同の利益を圖るべく杞柳組合を組織し一の團體を設け既に認可申請の手續を完了したりといへば該組合實現後益々獎勵に努めて怠らざりせば同地方新業の發展は蓋し思ひ半ばに過ぐるものあるべし

▲甲山銅店駄馬騰貴　久原鑛業會社の經營に係る咸南甲山銅店に需要さるゝ食料品及び日用雜貨等は從來主として城津港を經由し搬入しつゝあり同方面に於ける運搬用駄馬は概ね間島産ならざるはなく其の數約一百八十餘頭に達せり然るに運搬の便宜上咸北城津を經由すべき物資增加の結果城津より十六里の地點古堡までは牛車便に依り古堡より甲山まで十六里の間を馬背に依り運搬し來れるも小數なる駄馬にては到底豫定の運搬をなす能はざるより遂に同鑛山事務所に於ては間島産駄馬購入の爲め鮮人三名を派遣したるも間島にては到底多數調達の見込なく更に穩額吉林方面より購入の外なかるべしと

釜山滯貨減少

釜山棧橋に於ける內地送り輸送貨物は昨今著しく減退し十七日現在數量は二千九百五十噸にして品種は米、大豆、牛皮牛骨の類を主とし輸送途中に在る貨物は三千七百六十二噸なるが沿線各驛に於て輸送申込を受け居れる貨物數量は一萬六千四百十噸なりと云ふ（釜山）

客年釜山出入船舶

大正五年中に於ける釜山港に出入せし貿易船舶の數は出港汽船一千七百十艘入港同上一千七百四十三艘同上出港帆船一千五百七十艘入港同上一千八百〇一艘合計四萬二千六百三十六艘なりと（釜山）

朝鮮漆工會

漆工會は朝鮮に於ける漆器及び漆地に關する工藝的智識の涵養と技術の研究とに資し併せて會員の親睦を圖る目的を以て組織され現に內地人十七名朝鮮人四十六名の會員を有せるが十七日其の第一回總會を工業傳習所內に開催役員の選擧ありて左の如く決定せり

▲會長 今井明　▲副會長 [illegible]　金成主　▲幹事 [illegible]　井村[illegible]

京畿學校長會議

京畿道にては三月八日九日の兩日[illegible]に於て管內公立普通學校長會議を[illegible]開催す可しと

本田博士入府期

勸業模範場長本田幸介博士は十九日午後二時二十分南大門着列車にて水原より入京の事に確定せり

今村氏招待宴

總督府水口稅務課長土地調査局和田總務課長等發起となり大藏省書記官今村次吉氏を十九日午後七時花月に招待の筈なるが當日の出席者は氏の同期生其の他友人知己十六七名なりと

京畿銃砲火藥類狀況

大正五年中京畿道管內に於ける銃砲火藥類讓受許可を與へたるものゝ狀況を聞くに[illegible]

千七百六十二貫四百九十[illegible]匁前年同上六百五十萬八千三百三十三貫二十三貫五百[illegible]匁前年火藥五十萬零六千三百三十三貫なりき

人事

▲今村次吉氏（大藏省書記官）▲石川重男（同圖行）十八日夜入京大和旅館へ
▲ロスター氏外四名（太平洋商船會社長一行）十八日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

歐洲戰爭も外交戰になつて獨逸の潛航艇が横暴を極めて居るが之れも最早珍らしくもない▲矢張り政治季に近づくに從て何處でも政黨論や選擧談がはづんで來た▲東京でも地方でも氣の早い候補者は最う戸別訪問を開始して居るとの事だが大分滑稽もある相だ▲最近の話に某候補者が運動員に勸められてイの一番にさる材木屋を訪問した▲主人は折柄他の來客と對話中とあつて候補者はフロック姿でものゝ二時間も店頭に待たされた▲やつと主人に面會すると『まあ考へて見ませうから又た御出で下さい』と素氣なく追つ拂はれた▲お次に下駄屋を訪問すると主人公下駄の鼻緒をすげながら『政見を聞いた上でないと贊成も出來ない、今は忙しいから夜隙な時分に來て貰れ』とこれ又門前拂ひ▲三度目に豆腐屋を訪ねると主人公は候補者の出身地やら經歷やら[illegible]を[illegible]に聞いた上『ハヽア其うですか』といつた切り豆をヒキ始めたので何處でも追つ拂ひを喰つた▲此の戸別訪問程悲慘にして滑稽なものはない流石の候補先生方も大抵は恥を垂れる相な▲其れから此頃立會演說が流行する▲憲政會の長老株尾崎翁は一黨の年長者で何時も自分を撫しながら座長席に推さる▲今度も其間から出る事になつたが政敵は政友會の廣岡宇一郎と[illegible]▲早速來る第一回の立會演說をやりたいと翁に申込んだ▲翁は直に御免と逃げて『いや、決して恐れる譯ではないがどうも成岡君は辯護士だけに死刑を無理に言ひ拵る飛んでもない先生と口先の喧嘩は御免だや』は面白い

朝鮮鑛業要覽　定價一部一圓廿錢
附圖　朝鮮地質鑛産圖
京城日報社代理部、大阪屋號書店

新學期　受驗必携書案內
◎詳解漢和大字典（小柳司氣太）特三、〇〇
◎法理詳說 判例參照 實例引用 債權者の法律顧問（松本堂）特一、八〇
◎實用新いろは辭典（中村徳助・藤岡繼平著）一、五〇
◎小學校の模範的設備（小學教育研究會編）六〇
◎あだむすみす 帝國主義觀（[illegible]）一、三〇
◎模範解說 讀方獨習（荒井恭吉）五五
◎現代英詩鈔（山宮允）八〇
◎文藝と理想より觀たる婦人の精髓（井静太）六〇
◎默仙禪話（日置默仙）一、二〇
◎無我の生活（新井石禪）九〇
◎珠算速達秘法（佐藤定雄）三五
◎二人靜 前（柳川春葉）一、二〇
◎就眠前（小山內薫）六〇
◎まじなひさんぎ（平山芦江）四八
◎スパイス 遊話集 實の町（松本苦味）二五
◎舌すど味 上卷（岩井縫太郎）二〇
大阪屋號書店　京城本町一丁目

需要目錄案內送呈
京城勸農園　京城本町三丁目　電話七〇四番　振替京城五六番

治療發明 實驗列 贈呈
オキシヘーラー
は如何なる病か根性も本より治癒せしむる醫療器なり
貸付料一週間二圓五十錢
京城府櫻井町一ノ五九（電二五三三）
オキシヘーラー代理店

京日案內
普通　一回前金一圓每に五十錢
番外　一回前金一圓
▲市內中途購讀中止の節は料金返戻せず

女外務員五名入用　廿才以上卅五才迄　月收卅圓以上保證　午前中來談あれ　旭町一丁目科前へ入　小川きよ子

▲看護婦一名至急入用　希望者來談　長谷川町四七、シメノウチ齒科醫院　175

◎礦物定量分析　朝鮮公論社　坂元分析所　太平町二丁目　電話長一三四四　178

京城 春川 問合 自働車 貸切 片道四圓　京城水標橋通り 前八時　京春自働車商會　支配人 松田壽男　電話二一三八番　118

店員募集　十五六歲位三名小學卒業夜間通學の餘暇を與ふ　廿四五歲位二名吳服業經驗ある者　希望者來談 市內に確實保證人要す　京城本町二丁目 八九〇 ちぐさや　177

◎はねつぎ くじき うちみ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　89

▲醫師○代診○看護婦○各一名　至急入用　希望者午後來談　黃金町三丁目　朝鮮診療病院

蘇峰學人著
兩京去留誌
平福百穗、山下均、鶴田櫟村、柳田雄吉、前川千帆（五氏畫）
四六版總クロース　繪畫寫眞三十二種　定價壹圓五拾錢　郵稅十二錢
著者の東京、京城間を往來する其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の健筆を揮つて、兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し、人物躍如たるもの、固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し、或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨蘇宕小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して、萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め、諸畫伯の繪畫は、皆實境に臨んで描く所、唯々眞に逼るの妙あり。體裁清雅高尙にして、座右或は旅行等の好伴侶として、最も讚賞に堪ふ近時の好著述たり

賣捌所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

新刊
受驗必携　朝鮮六法要論
京城專修學校教官　安達大壽計著　定價四十錢　送料四錢
本書は朝鮮に於ける諸官廳、驗者並に一般研究者の爲に著したるものにて帝國憲法を初め民法刑法商法民刑事訴訟法の所謂帝國六法に付き朝鮮の重要法令との關係は勿論、其の朝鮮に施行せらるゝ部分と然らざる部分とを明かにし苟も內地法と異るものあるに對しては其の法文の有する慣習法に從ふべきことを問はず之を詳細明快に講述せる類例なき良書
京城本町　大阪屋號　振京二五七三

電氣化學科特設（晝間）（夜間）
電機學校
豫科一、二、本科一期　豫科一期二期本科一期高等撰科　生徒募集　入學申込は來る三月末日限　規則書は申込次第送附
東京市神田區錦町三丁目　電話本局七九八・五一三〇
豫科講義錄出版　校外生（講習生）特殊の通信教授　普通の通信教授　隨時入學許す

三月號出來
東京本町　博文館　振替東京二四〇番

少年世界
お伽小說 突飛太郎……巖谷小波
少年火夫……（寫眞小說）
沈沒船救助の話……山科禮藏
僕の自白……奥野他見男
親が日本人の少年……櫻井教授
□巨鐘の響（少年物語）女屋秀彦
▲肉食の犠牲（動物談）……新井教諭
▲怪艇か海獸か（冒險）……江見水蔭
□幽谷の七夜……葛原𦱳
▲疑問の寢室（探偵）……宮地竹峰
▲怪賊ガゼット（小說）……武田鶯塘
□森林王（武俠小說）……阿武天風
定價十二錢　郵稅一錢半

少女世界
お伽小說 辨天城……巖谷小波
巡禮お園（寫眞小說）……江南
私の受けた入學試驗……彼子
三度お醫（滑稽綺話）……沼田笠峰
パン屋の娘……
□王蟲の前（歷史物語）山內秋生
▲高女入學受驗心得……三浦教諭
▲入學準備の算術……後藤教諭
□雛祭を待ちつゝ（家庭物語）……永代美知代
▲七年ぶり……藤岡不二子
▲心から心に……本誌記者
□秘密の函（冒險小說）……岩崎史郎
定價十二錢　郵稅一錢

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　朝鮮銀行
電話　振替貯金口座京城三三三番
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

……字の上でも先進國の地位に立つてゐ
る最近支那で出版された『字源』とい
……麗々と載せられてゐる昔は一口に日
本人の作る漢文漢詩を和習の擬ひも……
大抵これを日本から拜借してゐる、
古くから有つた語は日本のに直して
使つてゐる『罪擧』といつて居たの
……う聽ては支那人自身も康熙字典や倫
文部府では用が足りなくて日本出來

……京政府ば……大理院分院設立の
驛ありし處本年取附豫算は甚……
……次郎(三七)は大正四年七月二十二日貰
……淸道新幕地方に洋服註文取りに行き
……方法院にて懲役一年の判決を受けし
を不服とし同覆審法院に控訴せり
外出したるまゝ之れを返濟せず櫻
井町質屋東孝太郎方に入質費消した
……審理中の處十五日懲役一年を言渡さ
れたり(仁川)

匂ひやかな春の手が、いつとしもなく、山の色を變へ水の光をあらためる今日此頃は人の心にも暖かい息吹を通はせて、若き令孃、若き令息を持たるほどの家庭では今更にその人達の結婚といふことが考へられます。人の世の春の歡びの盡きせざれ!新らしき若き夫婦に幸あれ!と祈る親心の希望、理想、追懷のいろ〳〵を伺つて見ました。

△軍人も近頃は中尉位で結婚する人が多い
娘は學校を出てから一二年間みつしり家政を研究させたい
―某提督の談―

私は然ういふ問題に就いては平素些しも考へて居らぬので別に意見といふ程の事も無いが折角だから何か

◆話す事 としよう『但し私の名前を出して貰つては困るがね』と言ひながら某提督は語る、近頃軍人の結婚時期も多少早くなつたやうに思ふ、

◆以前は 大概大尉になつてから結婚するといふやうなのが多かつたが近頃は中尉位で妻帶する人は澤山ある、友人などから娘を嫁にやりたいが何處かへ

◆世話を して呉れぬかと頼まれて探して見るが三十位になつた人で結婚を否む人は少ない、三十を越して妻帶せずに居るやうな人は何か考へのある人に限るやうだ、中尉時代には

◆收入も 少ないし中には親許から財政上の補助でも受けねばならぬやうな時代だから結婚などは早いと言つてしまへばそれ限りだが此の時代は元氣横溢血氣旺んの

◆年輩で あつて萬事積極的に進んでゆく時代であるから最もいゝ時であると思ふ、元來結婚といふものは健全な國民を造るために成立するものであるから

◆壯年の 時季に之れを行ふ事は必要な事と考へる、それのみならず餘りに遲く結婚したのでは充分の教育を施す事にさへ差支へるだらうと思ふ、私の結婚したのは

◆二十三 であつたが理想としては三十を越してからの結婚は宜しくないやうに思ふ、それから女子は高等女學校を卒業すれば成るべく

◆早く嫁 に遣りたいのは親の情であるが私の方針としては學校を出てから一二年は手許において家政の方を十分經驗させてそれから結婚させたいものと思ふ、

◆他人は 知らないけれども私達が娘を教育する方針としては成るべく日本的に育てたいと思ふ、裁縫、生花、茶の湯の如きものは之れは日本の家庭では必要なものであるから十分

◆仕込み たいと思ふがピアノ、オルガンの如きものも先づいゝとして、日本固有の俗曲の類は家庭には入れたくないと思ふ、何故かといふに三味線が彈けたり常磐津、淸元の如きものが解るとツイ出て

◆聽きに 行きたくなつたりなんかする、隨つて次第に思想が下等の方に向つて行くやうな事になる日本の女は決して斯る趣味が多方面でなくともよいと思つてゐる

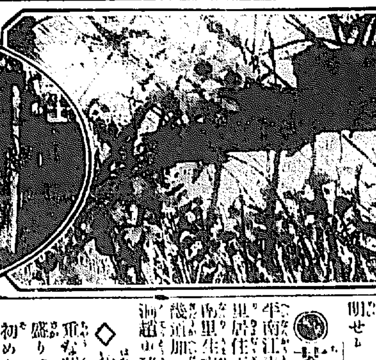
◇思出の姿 撫順炭坑再爆發に際して職のために殪れた技師工學士中村太郎氏及び夫人=鎭南浦中村家所藏

◆平壤神社祈年祭
二月十七日平壤神社に於ては祈年祭を擧行せるが、松尾社掌祝詞を奉じ祭典委員長本田府尹玉串を奉り松尾社掌神饌を供し平南道廳よりは工藤長官代理として山崎學務主任參拜し午後一時神官神饌を撤し祭事終了せり(平壤)

◉海上の氷山八十浬
秦皇島沖の奇觀=碎氷船の大活動
北支那地方は大寒以來天候温暖なりし爲め海上の結氷狀態も追々良好となり各汽船會社共本月半頃には太沽に初航船の入港を計畫し居れるが此數日來俄に西北の强風と襲じ

▲寒氣頓に加はり し爲め又もや不良となれるも大沽塘沽間は斷れず海河工程局碎氷船二隻を以て碎氷を行ひ居り大沽バーの水深十五呎內外あるを以て渤海海の航行容易なれば塘沽へ入港は差して難事にあらざる由なるが秦皇島は之に反し八呎乃至一呎の堅氷海上一面にて陸上より展望すれば沖合は氷山の如く觀測する處八十浬程に及べり七日には開灤鑛務局汽船新阜號石炭積取の爲め同港へ來著する筈なるに依り碎氷船開平號は萬一を慮り

▲危險を冒して 碎氷の爲め出動せるが目下港內には數隻の汽船氷結せられ居る有樣にて同港は當分汽船の出入不可能ならんと(大連)



◉北銀事件判決
岩下懲役六年
檢事以來三箇月慎重に慎重なる審理を重ねし大阪北濱銀行事件の裁判は十五日大阪地方裁判所田中裁判長に依つて判決を言渡さる、傍聽者多數首魁岩下淸周は靜岡縣沼津在富岡村大畑に隱棲中にて病氣とて出頭せず正午小塚正一郎出廷、次いで永田鵬太郎來り熊谷常松、中西萬藏來り室田は開廷豫定時の午後一時に至るも姿を現はさず午後二時廿五分開廷、裁判長は岩下、小塚、永田の三名に對し左の言渡しを爲し猶豫部決定各公訴事實中無罪となれる分を朗讀し更に理由の概要を說述したり(大阪)

背任業務横領文書僞造詐欺違反
懲役六年(檢事求刑十五年) 但し未決拘留百五十日通算
東京市麹町區紀尾井町三番地士族會社員 岩下淸周(六〇)

岩下と同樣各罪の外詐欺を加ふ
懲役四年(檢事求刑八年) 但し未決拘留當日數同上
京都市下京區高辻寺町前町平民無職 小塚正一郎(四九)

岩下と同罪
懲役三年(檢事求刑五年) 但未決拘留數同上
熊本縣飽託郡平民無職 永田鵬太郎(四六)

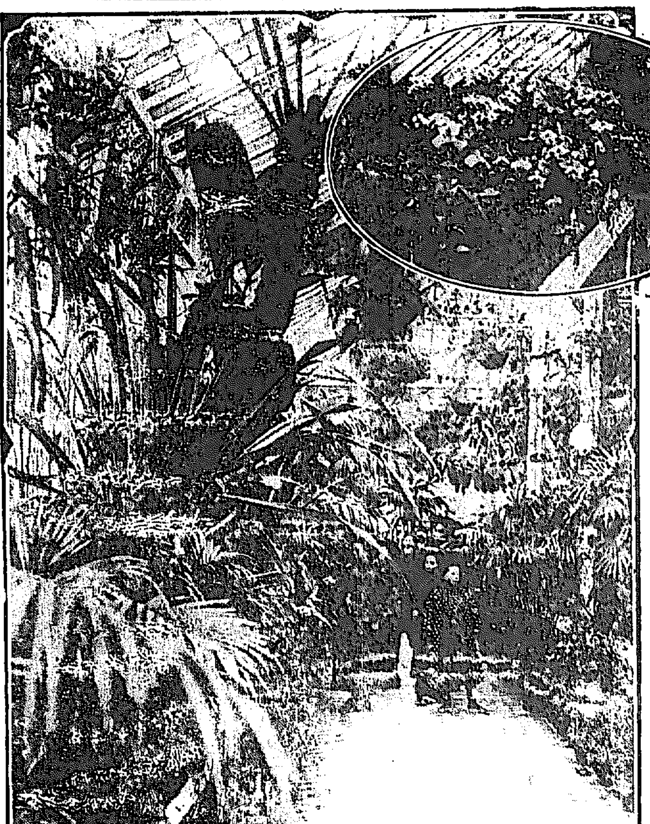
次で裁判長は左の三名に對して左の言渡をなしたり

業務横領詐欺文書僞造行使
懲役八箇月(檢事求刑一年)但二箇年執行猶豫 未決拘留百二十日通算
山口縣阿武郡萩町八百四十五番屋敷士族無職 室田賴章(四五)

横領文書僞造
懲役五年(檢事求刑十年)未決拘留百五十日通算
三重縣阿山郡上野町大字萬町平民 中西萬藏(四〇)

業務横領
懲役四年(檢事求刑四年) 未決拘留六十日通算
廣島縣尾道市土堂町五百八十久番使用人 熊谷常松(四五)

◉怒濤船夫を呑む
元山丸三ツ運送店取扱ひに係る沿岸貨物運搬用發動機付帆船千代丸は十六日入港せしが同船は下關を發して元山へ廻航の途次去る十日午前二時長鬐岬附近を航行中折柄の風浪に同船は木の葉の如く飜弄せられ船員の苦心一方ならざりしが俄然怒濤の押寄せ來り矢庭に同船使用の網を奪ひ去らんとすに船員の一人なる兵庫縣津名郡假屋町來多末吉(二九)は之を制せんとして浪に浚はれたるより素破大變と船長以下躍氣となり救助に盡したるも其の行衞不明となりたる由にて詮方なく十三日九龍浦に寄港司地憲兵派遣所に此旨を屆出でたり



◉親子三名中毒
河豚の肝を喰つて死す
龍山岩根町日稼金興圭(四一)は十四日京城本町二丁目路傍の塵芥箱より生魚の臟腑を拾ひて歸宅し翌十五日午後一時頃同人の外出中妻の金氏(四三)は三男三奉(九)長女士奉(四)と共に食したるに忽ち中毒し同日午後四時頃金氏、士奉の兩名は遂に死亡し同九時頃には三奉も絕命したるが急報に接したる龍山分隊元町出張所の憲兵は佐藤醫師と共に出張し應急手當を加へしも其の甲斐なかりしと猶右中毒物は取調べの結果河豚の肝及び黑鯛の卵の兩物を食したるものと判明せり

◉茶屋町の大賭博
平南江東郡江東面獻□洞平壤上□里居住王光彬(三八)大□郡柴廷面□南里生京城茶屋町居住金炳雲(四三)京畿道加平郡外西面上□□京城隊□海道□功方李彝□(二〇)下□鐵山郡□城、郡富永洞京城公平洞居住姜龍基(二三)平北義州郡古津面西齊洞京城崔道俊(二八)の內三名は元土地調査局技手なるが京城三角町李敦和なる者一月一日姜龍基と賭博をなして二百圓の敗けとなりたるより敦和は復讐の爲め李彝應と王光彬の二名を語らひ龍基より四百九十圓を捲揚げたるを手初めに一月七日頃迄に或は三四名又は數名の一團となり茶屋町妓生崔屋朴孝根方外五箇所にて花札を繰り賭博を開帳し互に數百圓の爭奪中取押へられ此程京城地方法院にて光彬、炳雲、龍基、彝應は各……

◇花滿開◇
李王職の植物園の溫室では、南洋熱帶地方の貴重な蘭花植物を始め、數ある球根ものなどの珍らしいのが、今を花の盛り、日曜は此の盛りの花を賞づる人達で大賑ひ――春はもう立ち初めました。

◉五十數箇所から酒代千五百圓の横領
兵庫縣明石郡押部村生れの藤本喜代次(三六)が京城南大門通三丁目百合正宗支店々員として雇はれ中大正四年四月より大正五年六月迄に龍山榮町花月外五十數箇所より取立てたる酒代金一千五百五十圓餘を横領し尙□銀行京城支店より同家に交付しある小切手用紙を前後五回に五枚窃取して其都度勝手な金額を記入し主人の印章を盜捺して百餘圓を騙取し遊興に消費したる横領及び有價證券僞造行使詐欺罪は此程京城地方法院にて懲役二年の判決となれり

◉郡守官印僞造
全北扶安郡□安面富谷里韓準烈(三三)は二月九日午後扶安郡守の命なりと詐稱し印版業大村仙助に依賴して同郡守の印章□□號受付印章を彫刻せしめ自己所有の土地に對し郡守が證明したる如き土地所有權保存證明書を僞造したること發覺し同人は當地警察署に捕はる

◉二千圓横領事件
鹿兒島縣薩摩郡隈城村生れの渡邊操(三六)が元京城電氣株式會社仁川支店の書記補として勤務し仁川府實公署の電燈料金物品代等の集金事務擔當中大正五年二月より同十一月迄の間に仁川府廳外十箇所より取立てたる金一千九百二十四圓餘を横領して遊興消費したる一件は仁川支廳にて豫審終結し此程京城地方法院の合議公判に附せられたり

◉保線工夫轢死
十六日午後五時鐵原より平康に歸著せる踏切番人某が龍山起點七十一哩平康より約二哩の鐵道線路上に於て內地人一名見るも無慘な轢死を爲し居るを發見し平康驛に急報せしが同內地人は平康保線工夫長池上米作と判明せり同人は當日鐵原方面より線路巡廻を爲しつゝ平康に向け歸途にありしものにて恰も二時五分前記の場所に於て百四列車元山九時四十五分發京城行旅客車が通過の際誤つて轢死を遂げしならんと

◉陸軍傷病兵慰問
愛國婦人會釜山支部委員二十八人は十七日午前電車一臺を借切り素人淨瑠璃連及び卷煙草約三十圓を携へ東萊の陸軍傷病兵療養所に赴き傷病士卒を慰問したりと(釜山)

約十年間龍山公立尋常小學校長として勤務せし鈴木總次郎氏は這回退職歸鄕することゝなりたるを以て龍山主なる有志は十八日午後一時より太陽館にて同氏の送別會を開催し矢野憲兵分隊長の挨拶鈴木氏の答辭ありて散會なりし

◉竹本南次太夫
大阪文樂座に出勤中の南部太夫の高弟竹本南次太夫は今回實□□□の爲め來京したるを以て若葉會主催にて十八、十九、二十の三日間每夜正六時より壽町稻荷座に於て同人の歡迎淨瑠璃會を催し南次太夫は三夜とも出演する由入場無料なりと

▲誰のいたづらだか今長州に時めき給ふ新太守の君と光彬との昔の戀反古が繰擴げられると▲此の好題目に一句無かるべからずと或る好事家の風流人が仲間の俳人等に檄を飛ばして捻り出したのが『一場の春夢の跡の嘆哉』『夢みる君や戀魔の宿』蓋し箱磐と言へはいかにも嚴つい軍人流に聽ゆるが新太守來るべき總選擧を控へての多忙さは宛かも戰場のやうだと言ふところをきかせたものだつたが▲更に或る小人の俳天狗が『京童の唄に盛る春の夢』とやつたところへ折よくか惡しくか姿を現はしたのがさる年少學士▲俳人連から是非一つと紙を突きつけられ問題が問題だけに始らく頭を掻いたが、やがてすら〳〵と書きなぐつたのが『烟霞情種歇紅豆。却將香夢傳風流。』の一絕▲之れは面白いと忽ち筆を呵して韻を次いだのが春夢の跡の俳人『美人一笑八年留。花月奇聞憶碧樓。一笑揚州新太守。月夕花晨倚薔薇。異代嬌名有光彬。太守宰相競風流。』と結んだ▲然して之をその新太守の許に送つたさうである

御內意に依り謹製したる
純白 美顏洗粉

◈高貴方の御不自由
皆樣御承知の歐洲の戰亂が長びいて、舶來品輸入の途が塞りましたに就て、其向々でお困りの方が少くありません。中にも化粧品が來なくなつたのには不便を感ぜられる方が多く、殊に從來西洋品をお用ひになつて居られた高貴方の御不自由はまた一通りでありませんでしたが、內國製品使用獎勵の聲が起つてから、先づ上の方々から其れを御實行のお積りで、段々と御檢查の後、日本製品の中で優良なものも現れましたのは大に喜ぶべき事でありますが、從來佛蘭西製の洗粉を御賞美になつて居られた高貴方の思召として、或筋から弊舖へ畏くも有難い御內意が傳達されました。

◈有難き御內意
其れは完全な研究の機關のある美顏白粉本舖で、佛蘭西製の洗粉と變らぬ洗粉を新製しては如何かといふ御注文の意味の籠つた御內意です。弊舖では意外な光榮に感激して進んで御受しましたが、それには餘程研究を積まねばなりませぬから鬼に角相當な御猶豫を願つておきまして、研究試驗部に於て顧問丹波、山本二博士、主任技師桃谷、小磯、齋藤の三藥學士の智能を擧り、苦心研究數箇月にして、漸う是れならばと自信のある洗粉が出來上がりましたので、早速御試用を願ひましたところ、幸ひにも非常にお氣に召されたので、其後引續き御誂へに應じて調製して居りました其洗粉を、此度愈々廣く世に發賣する事に致したのがこの美顏洗粉なのです。

◈美容術大家ルウヰズ孃
今東京で、始終高貴の方々の美顏術と御化粧方とに召される名譽ある美容術大家マリー、ルウヰズ孃は故國佛蘭西の巴里美顏術學校を卒業して日本へ來られ其の科學的智識と天才的技術とを以て、次第に高貴の方々を始め貴婦人紳士の間に御信用を博した方ですが、此方も高貴方の御用を勤めるにつけて、美顏術上の特殊な材料はそれ〴〵御自分で調劑されますが、一般の化粧品をお用ひの段になりますと矢張輸入杜絕以來誠に困つて居られたのですが、美顏洗粉が出來てからは、非常に喜ばれ、美顏術に美顏洗粉を用ひられるやうになりました。

◈何處が違ふか?
美顏洗粉は普通の洗粉と違ひ、皮膚の清洗劑と共に蛋白質、中性脂肪分、及び最近桃谷研究試驗部で發見完成した美容上最も有効な植物性の粘液素、次に漂白作用と言つて皮膚の新陳代謝の作用を活潑にし、段々と垢ヌケするやうにする作用の極く盛な原料、斯ういふものを適度に配合して製へた品ですから、其効果も皮膚を洗ひ淨めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑らかにし、美しい光澤を添へ、容貌の美しさを增し、更に續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備はつてゐて、それに香の美しさ、使ひ心地の快さまで、すつかり行屆いたものであります。殊にこの洗粉は、氣持がよいほど色が純白なので、一寸見ても他の洗粉と大分違つてゐる事がお分りになります。皆樣この御內意に依り創製したる洗粉は何の樣な洗粉でせうか。發賣後まだ間もないのに、大變な人氣になりましたのを見ても、此洗粉の品質の特に優れてゐる事がお解りになりませう。未だの方は早くお試しなさいまし、乾度お樂しみが一つ殖ゑます。

怒濤の月 八十三

小林蹴月作 武内桂舟畫

宴の後『十五』の七

『愈々、合點がゆかんの。一寸でも乃公に逢はん内は、迂濶に言はれん大事ぢやと……？』

男爵は、醉眼を瞑つて、少時思案の躰であつたが、如何にしても、心に思ひ當る事がないのである。

『仕方がない、會つて遣はさう。事情は分らんけれども、その儘追返すのも、何とやら氣懸りぢやからの。』

『では、應接の間へお通しして宜しう御座いますか。』

『茶でも出して暫時待たして置きなさい。』

『畏りまして御座います。』

女中は、お袖夫人の方へ會釋しながら、引退つた。

『ではの、お袖さん、お聞きの通りぢやから、乃公は鳥渡御免を蒙りますぢやて。』

『何卒お關ひ遊ばさずに……妾は、そろ〳〵お暇を申上げますから。』と、お袖夫人は、特に氣を利かして、別室の方へと急いだ。

男爵は、その後影を見送りながら、やをら起つて、應接の室へ出て來られたのである。其處にはちやんと女中の言つた通り、五十恰好の職人躰が、膝頭を石のやうに揃へてぎごちなく畏り奉つて居た。

『はゝあ、お前さんかの、乃公に是非會ひたいと言ふのは。』

『へッ、へ、へ、貴方様が殿様でお在遊ばしますんで、へッ、俺は、八丁堀の銀次郎と云ふ大工の棟梁なんで御座いますが、是はお初にお目に見りますで御座います。』

『いや、そんな挨拶は、什うでも宜いぢやが、こんな夜中に何事の用向で屋敷へ來られたんぢやの？』

『恐れ入りまして御座います。實はなに、雲澗の内に罷り出やうと存じましたんですが、俺們のやうな木つ端人足が、初めての殿様にお目通りを願ふのは、反つて夜分の方が好からうと存じましたんでね、へい……。』

銀さんは、斯う言ひながら、恐る〳〵袂から敷島の手の付かないのを取出して、遠慮さうに燻らし始めた。

『成程、それも一應の理屈ぢやが、して用向と云ふのは？』

男爵は、絶えず銀次郎の風姿から擧動の上に特別の注意を拂ひながら少し急ッ込んだ語勢で押返されたのである。

『へい、その用向の一件なんで御座いますがね、殿様、作法を知らねえ莫迦な野郎だと、御立腹になつては困りますが、へッ、へ、へ、へ、實は殿様に御內々で買つて頂きてえ物が御座いますんでね。』

『內々で乃公に買ひ取らせたい物がある……？はてな、乃公は他のやうに書畫骨董の趣味も然う深くはないし……偖は、お前さんが大工の棟梁とあるからには、何處ぞに格安の建物でもあつて、それを購へとの相談でもありますかの。』

『へい、そんな物では御座いませんので……生きた人間を一匹お買ひ上げが願ひたくて罷り出たんで御座いますよ。』

『生きた人間とは變つた貿物ぢやの。併し、お前さん方は知らんかも知れんが、生きた人間を賣買するのは、人身賣買と言ふての。それは法律が嚴禁しとる事ぢやから、左様な事は出來やう筈はないんぢや。』

『へい、法律では嚴禁してあるかも知れませんが、銀次郎のお願ひに出たその生きた人間と云ふのは、殿様に限つて、是非々々お買ひ上げ下さらなきやならねえ代物なんで御座いますから、それで態々雪の夜中も厭はず御邪魔に參つた譯なんで御座います。』と、銀次郎は、敷島の喫ひさしをグイと二ツに折れるほど力強く灰へ差込み、ちやんと兩手を膝の上に突き直したのである。

『…………。』

男爵は、醉眼にその顔を視入つて、又少時は解きかねた謎の判斷に苦んで居らるゝ模様であつたが、

『銀次郎君とやら、お前さんの言ふ事は、什うしても乃公には合點が行きかねるぢやが、元來その生きた人間と云ふのは、何者ぢやの？』

『へッ、へ、へ、殿様とゑあらうお方に似合はねえ、まだお察しが付かねえんで御座いますか。ぢや、思ひ切つて申上げますが、殿様、その生きた人間と云ふのは、紺代と云ふ今年漸く十九になつたばかりの美しい娘ッ子なんで御座いますよ。』

盲人の教育

英國婦人の事業

文明の程度が進み行くにつれて婦人の力が各方面に發揮されつゝあると云ふ事は誠に喜ばしい事ですが歐米の諸國に比べると日本の婦人界に於てはまだ憐れな盲人達の教育と云ふ點にまでは著目されて居りません現在我國の盲人數は約十萬人に達し歐米邊りの幾倍と云ふ統計を示しつゝあるにも拘はらず

◇教養を受けて居るものは僅かに一割に過ぎぬ程で從つて道德的教養の行き渡らぬ爲め下級社會に居る彼等が社會に流す惡影響は存外甚だしいものであります盲人の教育及び慰撫と云ふ事について最も力を盡くして居るのは英國婦人の右に出づるものはないさうですが丁度先年倫敦の盲人高等師範學校を卒業して歸朝した同愛訓盲院の中村强太郎氏は彼の地婦人の盲人に對する活動を語りて曰く『倫敦に於て盲人達のトリートに建築されてある國民點字圖書館に通ひ點字を習得し、これを道德的文學、宗教的文學或ひは高い意味に於る小説類通俗小説等に飜譯して

◇盲人達の讀むやう叮嚀に書籍に致します此圖書館の點字藏書は約百二十萬冊もあつて毎日三萬冊からの書籍を貸出して居ます、點字圖書館は此他何處にでも建築されて居て個人として毎週五六百人の盲人を集め音樂や講演をやらして其心を慰め知らず〳〵の間に精神教育をして行くと云ふ事業をして居られる方も澤山にあり、現に倫敦ではミセス、ステーリヤさいふ貴婦人が率先して此種の會合を至る處に開催して居ます僅に五千名の婦人が日々生活しつゝある

◇國民點字圖書館の起りは至つて小さな事であつて、今から六十餘年前に貧乏盲目婦人ミス、アノードが五六冊の點字ブックを所有して之を友達等に借したのが漸次擴められて斯く規模の大なるものとなつたのであります私は日本の或篤志家婦人等が協力されて高尚な點字の讀み物を淋しき同胞の盲人達のために飜譯され不具者の心をより高くより清く導かれん事を希望して止みません』

新刊紹介

▲東京種苗園の盛況 東京篠谷町にて［illegible］
▲英語と英國氣質の研究（日英商會）時の戰爭に於ける英國人の特性（日本記者）［illegible］
▲大阪銀行通信錄（新年號）大正五年下半期［illegible］
▲滿蒙研究彙報（二月號）［illegible］
▲電氣化學（二月號）［illegible］
▲新東洋（青年號第三號）［illegible］
▲殖民世界（二月號）戰後列强の逆襲と東洋市場［illegible］
▲經濟資料（二月號）支那綿業調査資料［illegible］
▲海友（新年號）本邦造船業の發達［illegible］
▲寫眞タイムス（二月號）消防出初式［illegible］
▲金星（二月號）財界轉化の機運［illegible］
▲陽明（二月號）大鹽中齋の洗心洞の精神［illegible］

●天津通信

▲支那人の杞憂 十四日發刊

の京報タイムスは左の如き事實を［illegible］非常に攝せられたり何となれば支那人之れを日本の武力と米國の財力とが一致共同して支那の勢力を扶殖す［illegible］大運河開墾事業が日米合資を以て實行さるに至るべき事が報知されしは數日前の事なり米國は袁世凱治政の［illegible］一員なるウイリアードストレートが日本を訪ふべき事が內地新聞によりて報ぜられてより益々支那人の疑惑［illegible］にも日本を加入せしむる恐あるとせり或支那人間には若し運河開墾が兩國の共同事業となる事に決定したる［illegible］の有様なりしが同地よりの消息に依れば兩三日前北西の風吹きたる爲め［illegible］河丸は一昨日大連を發し同港に向ひたる由なれば同船が果して秦皇島に入港し得ば渤海の氷狀態を知悉す［illegible］差支なしと保證し居れり太古洋行の汽船通州丸は昨廿芝罘を出帆塘沽に向ひたる由なれば同船の入港し得る［illegible］來る二十一日頃となるべしと云ふ（十六日發）

陸軍大臣大島健一閣下題字
隈陸軍省經理局長序文
西川關東都督府陸軍參謀長序文
關東都督府陸軍部編纂

滿蒙產業誌

內容詳細說明書御申越次第進呈
菊判上製函入七百五十餘頁地圖挿繪完備 定價三圓 郵税十二錢

是れ十有餘年の精查研鑽を累ね莫大の資力を投じ絶大の苦辛を經て完成せる滿蒙利源開發無二の秘鑰

目次摘要

●上篇●滿洲の部● ▲總論 ［illegible］ ▲農業 ［illegible］ ●中篇●蒙古の部● ［illegible］ ●下篇● ［illegible］

發行所 東京市京橋區日吉町 振替東京一三一〇〇 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

淋病新藥 ツヨール
醫學博士學士臨床實驗書無料贈呈
百入壹圓六拾錢 五〇入九拾錢 三〇入五拾五錢
東京日本橋川瀨石町十一 ツヨール商會
關西代理店 大阪道修町 田邊五兵衛

京城學校組合告示第壹號
京城學校組合區域內ニ居住スル兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ同四十四年四月一日マデニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヲ以テ學齡ニ達スルニヨリ右學齡兒童ノ保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正六年一月十日 朝鮮總督府府尹 金谷充

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

返信券添へ照會あれ詳細回答す
百円進呈
りん病 ばいどく
特製 參圓 貳圓 壹圓
大阪三休橋北詰 大阪ドラッグ商會
痲病主藥は治痲劑こし梅毒主藥は驅梅內服藥こし醫學上最有效こ確定し東京帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せられつゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料こして金百圓呈進
●あらゆる治療を試みるも効なき患者兎に角一度相談あれ
にせ物に注意 隆盛を來すに從ひ東京大阪京城に商會の類似品を賣る奸商あり 商會製劑を御購求の諸君は大阪有田鑑製を御取可被下候
●振替京城四六七番 電話長二五六七
京城南大門外 大阪 グッドラ商會
販賣許可ヲ得 他藥店ニ

金泉醴泉間自動車時間
上り 一番 二番 下り 一番 二番 ［illegible］
金泉發 前八、〇〇 後一、〇〇 ［illegible］
金泉織居自動車支部 ▲小荷物運搬仕り候 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間
上り一番二番 下り一番二番 ［illegible］
大塚農場自動車所 大邱出張部 電話一二七番

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行
江原丸 二月廿一日正午出帆
晉州丸 二月廿七日正午出帆
［illegible］丸 二月廿八日正午出帆
仁川海岸町 電話十二番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 二月十八日後四時出帆
○秀吉丸 二月廿日後四時出帆
○君が代丸 二月廿六日後四時出帆
○神代丸 二月廿一日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行（關東都督府命令航路）
第十六共同丸 二月十七日午後入港 二月十九日正午出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三一二番 京城荷客取扱店 松原運送店（電話長一七〇）
○全羅丸 二月廿三日 釜山發
○京畿丸 三月五日 釜山發
○黄海丸 二月十八日 釜山發
○咸鏡丸 三月一日 釜山發
○穩城丸 二月廿一日 元山發
○昌平丸 三月 日 元山發
○鏡城丸 二月十九日 元山發
［illegible］
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆
［illegible］
○群山、神戸、大阪行 二月 日後五時出帆
○群山、木浦、釜山、神阪行 二月廿二日 三月八日 後五時出帆
○木浦、釜山、長崎行 信濃川丸 二月廿二日 安東丸 三月九日 後二時出帆
○群山、釜山、長崎行 潮州丸 三月六日 チヨイサン丸 二月廿六日 後一時出帆
○鎭南浦、大連行 福州丸 二月十九日 正午出帆
○大連直航 安東丸 三月五日 東京丸 三月廿二日 正午出帆
［illegible］

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 三月一日後五時出帆
○立神丸 二月十九日後五時出帆
○元山、城津、清津、浦潮行 二月十八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 二月十六日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 二月廿五日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日十四日廿六日 午後十時出帆
本船取扱店 釜山濱立町 大池回漕部